



平成2017年度日系研修員事業提案案件表
 上半期（研修期間：2017年4月～2017年9月）、下半期（研修期間：2017年10月～2018年3月）

案件No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画（内容）	資格要件	提案団体（研修実施機関等）	連絡先	所管センター
C1	集団	5S-KAIZENによる保健医療従事者の管理能力の向上	10以上	上	2017/6/25	2017/7月	①研修員が5S-KAIZENを理解し、実践する能力を得ることにより、病院における安全や情報等の管理向上に貢献する。 ②1. 5S-KAIZENの知識を習得することによって、研修員の管理意識が向上する。 2. 日本の医療現場を見学することによって、職場における5S-KAIZENの実践を理解する。 3. 日本における電子カルテ等の情報管理システムの知識を得る。 4. ファシリテーション等の指導法の習得に基づき、帰国後の具体的実践計画を作成する。 ③1. 講義：5S-KAIZENの基礎、5S-KAIZENにおけるマネジメント、リーダーシップ論、KAIZENによる業務プロセス（カルテ管理や薬剤管理等）の見直し、日本の保健医療制度、院内感染予防からみた5S、医療器材の5S-KAIZEN、危険予知トレーニング（KYT）、ファシリテーション技術等 2. 実習：研修員の医療現場の分析、5Sの実践法 3. 見学：病院（5S-KAIZEN-TQMの展開、情報管理システム） 4. 発表：具体的実践計画	現職・資格・知識： 看護師 コメディカルスタッフ、事務管理者、医師の職務にあるもの。 管理者としての経験があるもの、または将来管理者として従事する可能性があるもの（帰国直後から、職場における5S-KAIZENを実施できる職位の為） 経験年数：3年 年齢：21歳～50歳 日本語能力初級	株式会社ディーエーネットワーク	土屋 克成 TSUCHIYA Katsunari (Mr) tsuchiya.katsunari@ta-n.com http://www.ta-n.com/	JICA横浜
C2	集団	ソーシャルビジネスと日系団体運営管理	6	下	2017/10/1	2017/11月	①ソーシャルビジネスに関する知識およびソーシャルビジネスの手法を用いた日系団体による地域活性化のための新規事業計画の作成 ②1. 非営利団体の運営管理手法に関する知識 2. 日本人移住の歴史及び日系社会支援の変遷に関する知識及び知識普及のための技術の習得 3. 現代日本事情及び日本伝統文化に関する知識の習得 4. 事業計画作成に関する知識・技術の習得 ③1. 講義：日系関連事業、日系団体に関する講義／非営利活動、ソーシャルビジネスに関する講義／ビジョン・ミッション論／モチベーション管理／リーダーシップ論 2. 演習：社会的課題発見手法／問題解決手法／新規事業作成手法 3. 見学：ソーシャルビジネス現場視察／在日日系コミュニティ支援／海外移住関連施設 4. 演習：日本文化行事企画／ファシリテーション手法	現職・資格・知識： 日系団体等（日系農協および日系団体下部組織を含む）非営利団体に所属する者 経験年数：1 年齢：21歳～50歳 日本語能力初級前半	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
C3	集団	幼児教育と日本文化活動	6	下	2017/12/4	2018/2月	①幼児教育に関する知識・技術および幼児期における日本文化（伝統文化・サブカルチャー）活動を含む継承日本語教育の方法に関する知識・技術を習得する。 ②1. 講義、実習をとおして幼児に対する指導技術を習得する。 2. 継承日本語教育の基礎的な概念、知識を習得する。 3. バイリンガル教育、発達心理学の基礎的な知識を習得する。 4. 日本の伝統的文化及びサブカルチャーに関する知識を習得する。 ③1. 講義：教育の原理と方法、運動と子ども、絵本と子ども、日本の年中行事、自然と子ども、食育と子ども、日系社会と幼児教育、伝統文化とサブカルチャー等 2. 実習：民間幼稚園での教育実習 3. 視察：幼児教育施設、バイリンガル校 4. 発表：講師および実習園、研修最終日	現職・資格・知識： 幼稚園教諭資格または同等の能力を有している者で、現在幼児団体に従事している者 経験年数：1年 年齢：21歳～50歳 日本語能力初級後半、日本語能力試験N4程度（全講義、日本語で実施されるため）	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
C4	集団	食を通じた日系団体婦人部活性化	6	下	2018/1/8	2018/2月	①食を通じた地域活性化のための婦人部活動に関する知識を習得 ②1. 日本食を中心とした調理技術を習得する。2. 食を通じた特産品の開発、地域おこし等の地域活性化に関する知識を習得する。3. 現地日系社会が抱える課題解決手法を習得する。 ③1. 講義：日系社会と婦人部活動、日本の非営利活動等 2. 視察：先進農協、地域団体他 3. 実習：調理実習等	現職・資格・知識：日系団体婦人部の部員 経験年数：1 年齢：21歳～59歳 日本語能力初級前半 他言語：通訳配置可能性有	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
C5	集団	日系継承教育（教師育成Ⅰ）	6	上	2017/12/4	2018/2月 事前研修（通信）2.5ヶ月を含む	①継承教育に関する基礎的な知識（言葉、文化、歴史（移住学習を含む））および指導技術を習得 ②1. 継承教育を担う教師としての基礎知識を習得する。 2. 継承教育・言語（発達）教育の基礎理論を理解し、実践方法を習得する。 3. 継承教育におけることばに関する知識および指導技術を習得する。 4. 継承教育における文化的活動の基礎的指導技術を習得する。 ③1. 講義： ①継承教育を担う教師としての基礎知識（通信：ブラジル日本語センター） ②継承教育・言語（発達）教育の基礎理論 ことばと子ども／継承教育と地域・社会（バイリンガル教育、移住史、継承教育の実践） ③継承教育とことば ことばの教育（年少者向け日本語授業の研究・技能別指導法） ④継承教育と文化 子どもと文化活動（日本語学校と文化活動・日本文化の体験学習） 2. 視察：国際学級、外国人学校、文化施設など	現職・資格・知識： 日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師 経験年数：1～3年、教授時間300時間以下 年齢：21歳～50歳 日本語能力初級後半、日本語能力試験N4程度、全講義日本語で実施されるため。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
C6	集団	日系継承教育（教師育成Ⅱ）	6	下	2017/12/4	2018/2月	①継承教育に関する基礎的な知識（ことば、文化、歴史（移住学習を含む））および指導技術を習得 ②1. 継承教育・言語（発達）教育の応用理論を理解し、実践方法を習得する。 2. 継承教育におけることばに関する知識および指導技術を習得する。 3. 初級コースのコースデザイン方法を習得する。 4. 文化的活動の指導計画作成方法および指導技術を習得する。 ③1. 講義： ①継承日本語教育・言語（発達）教育の応用理論 継承教育と地域・社会／言語習得・発達（子どもの発達と教育、個人史、継承教育の実践と方法） ②継承教育とことば ことばの教育（年少者向け日本語授業の研究・技能別指導法・対象年齢別指導法・評価法） ③継承教育と文化 子どもと文化活動（文化活動・日本文化の体験学習・伝統文化とサブカルチャー） 2. 視察：外国人学校、日本文化施設など 3. 演習	現職・資格・知識： 日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師 経験年数：5年以上、500時間以上 年齢：21歳～50歳 日本語能力中級、初級後半の指導法習得を目標とするためそれ以上の日本語力が必要。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜

案件No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体(研修実施機関等)	連絡先	所管センター
C7	集団	日系継承教育研修(指導者育成)	6	下	2018/1/8	2018/3月	①継承教育を担う教師として継承教育に関する知識を深めるとともに、養成・育成講師としての後進教師に対する指導方法に関する知識・技術および養成・育成コースのためのコースデザインの方法を習得する。 ②1. 専門性の高い継承教育指導知識および技術を習得する。 2. 講師としての指導技術を習得する。 3. 継承教育教師の養成・育成を目的とした研修カリキュラムを作成する。 ③1. 講義: ①継承教育に関する知識(継承教育論、バイリンガル教育論、年少日本語教育論) ②継承教育を実践する教師の育成・養成方法に関する知識と技術(コースデザイン論、カリキュラム作成手法、養成講座論、プレゼンテーション技法) 2. 演習: 継承教育教師養成講義実習 3. 視察: 教師養成機関、外国人学校、日本文化施設等	現職・資格・知識: 現地教師養成、育成に携わる講師またはその候補者 (帰国後の研修成果還元が期待されるため) 経験年数: 7年以上、教授時間700時間以上 年齢: 21歳~59歳 日本語能力上級、日本語能力試験N1(旧1級)以上	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
C8	集団	日系日本語学校の運営管理	6	上	2017/7/23	2017/8月	①日系日本語学校を運営するための知識の習得および経営者、管理者としての能力の向上並びに日系継承教育の知識を習得する ②1. 日系日本語学校運営のための知識・技術を習得する。 2. 経営者、管理者としての能力向上のための知識・技術を習得する。 3. 日系継承教育に関する知識を習得する。 ③1. 日系日本語学校運営のための知識・技術 【講義】日系日本語学校経営論/日系日本語学校における財務管理/ビジョン・ミッションと経営教育ICTの活用 【演習】新規事業計画作成 【見学】教育系非営利団体の活動/教育ICT活用現場(日本語学校、公教育(初等・中等))教育産業(教材作成)の現状 2. 経営者、管理者としての能力向上のための知識・技術 【講義】日系日本語学校におけるモチベーション/日系日本語学校におけるリーダーシップ 【演習】問題解決手法/ファシリテーション手法 3. 日系継承教育に関する知識の習得 【講義】日系継承教育論(日系人とアイデンティティ) 【視察】移住関連施設/日本文化施設	現職・資格・知識: 日系日本語学校の運営幹部もしくは管理者 経験年数: 5年以上(教授時間700時間以上) 年齢: 21歳~50歳 日本語能力中級	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
C9	集団	日系農協の総合事業強化と地域福祉システムの構築	10	上	2017/5/14	2017/6月	①有機的に事業が展開される日本の総合農協の機能、役割についての理解をベースにして、経営強化のための考察をし、特に営業、販売事業に係る管理手法(生産管理、品質管理等)にかかわる知見を習得すること。さらに福祉事業の取り組みの考察から、地域から信頼され、安定的な組織運営につながる事が期待される新たな事業としての方向性を探る。 ②1. 農協による工程管理をベースにした品質管理の仕組みが作られる2. 農協による高齢者福祉事業の体制作りと既存のサービス向上3. 販売・購買事業・農業加工事業強化のサプライチェーンの方策が図られる4. 経営管理・財務管理、役員教育活動実施による人的資質の向上 ③1. 講義: 日本の総合農協の取り組み2. 見学: 農協組織(単位農協、事業連合会施設~販売・購買・福祉関連)畜産事業関連施設、民間小売店舗、行政機関(試験場、普及関連施設)3. 意見・情報交換: 農協役員との経営に関する意見情報交換、組合員農家との生産管理について意見情報交換会 4. 発表: 研修最終日	現職・資格・知識: 農協組織幹部(役員・参事・部長クラス)経営全体に考えが反映できる立場の方 経験年数: 1年(役員・参事・部長経験) 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級前半 日本語能力中級 他言語: 通訳配置可能性有	一般財団法人アジア農業協同組合振興機関	中嶋 透 (NAKASHIMA Toru (Mr)) Mail: nakashima-idaca@j.email.ne.jp Site: http://www.idaca.or.jp	JICA横浜
C10	集団	改善と5S(1)	12	上	2017/5/14	2017/6月	①生産性及び品質の改善・向上に向けた活動の意義と進め方を体験的に習得し、職場や所属する組織において活動を主導するためのリーダーとしての意識が強化される。また、現状の問題を解決し、改善するためのアクション・プランが作成される。 ②1. 「改善」や「5S」活動を中心に、日本における生産性及び品質の改善・向上のための様々な活動の意義や効果およびその背景について理解が深まる。 2. 「改善」や「5S」活動のポイントや具体的な手法が習得される。 3. 職場や組織のリーダーとしての役割や取るべき態度・行動について認識が深まる。 4. 職場や自組織の問題を分析、特定し、その改善案を策定する方法について考え、アクション・プランが作成される。また、それを通じて問題解決能力が強化される。 ③1. 講義: 日本における企業文化と雇用慣行、「改善」活動の意義とその進め方、製造業及びサービス産業における生産性・品質改善の取組み、製造業及び事務・サービス部門における5S活動、リーダーシップなど 2. 演習: 生産管理、オフィスにおける5S 3. 見学: 製造業/サービス産業における生産性・品質改善の取組み、5Sの実際 4. 討議: 中間討議、総括討議及び各演習での振り返り 5. 発表: ジョブ・レポート、アクション・プラン	現職・資格・知識: 会社勤務または自営経験 経験年数: 3年 学歴: 大学卒(相当) 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級前半 他言語: 通訳配置可能性有 ※日本語または英語を理解できること(講義: 日本語、教材: 日本語or英語)。	一般財団法人海外職業訓練協会	西田 喜実子 (NISHIDA Kimiko (Ms)) Mail: nishida.kimiko@ovta.or.jp Site: http://www.ovta.or.jp/	JICA横浜
C11	集団	改善と5S(2)	12	下	2018/1/8	2018/2月	①生産性及び品質の改善・向上に向けた活動の意義と進め方を体験的に習得し、職場や所属する組織において活動を主導するためのリーダーとしての意識が強化される。また、現状の問題を解決し、改善するためのアクション・プランが作成される。 ②1. 「改善」や「5S」活動を中心に、日本における生産性及び品質の改善・向上のための様々な活動の意義や効果およびその背景について理解が深まる。 2. 「改善」や「5S」活動のポイントや具体的な手法が習得される。 3. 職場や組織のリーダーとしての役割や取るべき態度・行動について認識が深まる。 4. 職場や自組織の問題を分析、特定し、その改善案を策定する方法について考え、アクション・プランが作成される。また、それを通じて問題解決能力が強化される。 ③1. 講義: 日本における企業文化と雇用慣行、「改善」活動の意義とその進め方、製造業及びサービス産業における生産性・品質改善の取組み、製造業及び事務・サービス部門における5S活動、リーダーシップなど 2. 演習: 生産管理、オフィスにおける5S 3. 見学: 製造業/サービス産業における生産性・品質改善の取組み、5Sの実際 4. 討議: 中間討議、総括討議及び各演習での振り返り 5. 発表: ジョブ・レポート、アクション・プラン	現職・資格・知識: 会社勤務または自営経験 経験年数: 3年 学歴: 大学卒(相当) 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級前半 他言語: 通訳配置可能性有 ※日本語または英語を理解できること(講義: 日本語、教材: 日本語or英語)。	一般財団法人海外職業訓練協会	西田 喜実子 (NISHIDA Kimiko (Ms)) Mail: nishida.kimiko@ovta.or.jp Site: http://www.ovta.or.jp/	JICA横浜
C12	集団	起業・後継者のための経営力強化	12	下	2017/10/1	2017/11月	①経営者に求められる基本的な知識や心構えを習得し、起業や経営改革、新しい事業などの事例研究等を通して、事業経営のノウハウや失敗しない経営のポイントを習得する。また、研修を通じて、起業あるいは事業の継承・拡大の構想を明確にし、具体的かつ実現可能性のある事業計画が作成される。 ②1. 経営者としての覚悟と自覚が醸成される。 2. マーケティング、財務、法務、人事等、事業経営の基本が習得される。 3. 事例研究や企業訪問等を通して事業経営のノウハウが把握される。 4. 起業あるいは事業継承・拡大のプロセスやポイントについて理解される。 5. 具体的な事業計画書が作成される。 ③1. 講義: 経営者に求められるもの、ニュービジネス、マーケティング、経営のための計数管理、リーダーシップ、改善と5Sなど 2. 実習: 事例研究、事業計画書の策定 3. 見学: 起業家訪問、老舗訪問、自由見学(市場調査) 4. 発表: ジョブ・レポート、事業計画	現職・資格・知識: ・経営に関する比較的高度な知識あるいは探究力 ・起業あるいは経営革新の基盤となる職業上の経験 ・会社勤務または自営経験 経験年数: 8年 年齢: 21歳~50歳 学歴: 大学卒 日本語能力初級前半 他言語: 通訳配置可能性有 ※日本語または英語を理解できること(講義: 日本語、教材: 日本語or英語)	一般財団法人海外職業訓練協会	西田 喜実子 (NISHIDA Kimiko (Ms)) Mail: nishida.kimiko@ovta.or.jp Site: http://www.ovta.or.jp/	JICA横浜

案件No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体 (研修実施機関等)	連絡先	所管センター
C13	集団	地域保健医療福祉—既存の社会資源を要介護高齢者へ生かす手法	8	下	2017/11/5	2017/12月	①日本の地域における要介護高齢者へのケア及びシステムについて学び、自国の高齢者ケアの改善に資する。 ②1. 日本の高齢者医療及び認知症ケア、在宅ケアの歴史的背景と現状を理解し、自国の高齢者対策と比較できる(佐久大学征矢野教授を中心とする講師) 2. 自治体、地域における高齢者ケアへの取り組みを理解し、自国と比較できる。 3. 自国の強みを列挙できる。 4. 高齢者施設の運営、管理について理解する。 5. 高齢者用住宅の利便性について理解する。 ③1週間: JICA横浜—総論的研修(日本の保健行政、高齢化を取り巻く社会・経済、日本語等) 3日間: 東京研修—大都市における高齢者ケア(東京都長寿医療センター、慶友病院(老人専門病院)、武蔵野市の地域における取組み(NGOとの連携) 2週間: 佐久市を中心とする研修(佐久大学、佐久市の各施設、上田市(JAローマうえだ)—特別養護老人ホーム、小規模多機能型高齢者施設、グループホーム、有料老人ホーム、佐久市の認知症サポータープログラムの取り組み) まとめ、閉講式 2日間: JICA横浜	現職・資格・知識: 1. 医療(医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等) 2. 保健(高齢者のデイケアや健康増進プログラムのマネジャー等で職種は問わない) 3. 福祉(ソーシャルワーカー、高齢者施設のマネジャー等で職種は問わない) 4. 日系関連団体の施設等を活用して高齢者が集まるサロンやデイサービス等を企画、運営する意欲のある人(資格は問わない) 5. 老年学を学ぶ大学院生 経験年数: 2年 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級後半、日本語能力: N3~N4程度(高齢者とあいさつができる)。日本語が乏しい場合は日常的な英語を理解していること。 共通用語として英語を使用するため英語を理解できることが望ましい	佐久学園佐久大学	東田 吉子TSUKADA Yoshiko(Ms) y-tsukada@saku.ac.jp http://www.saku.ac.jp/	JICA横浜
C14	集団	輸出振興/マーケティング戦略	8	下	2017/10/1	2017/10月	①自国の地場産業の特性を活かし、かつ売れる商品のための実践的な戦略、手法を習得し、輸出振興のための計画が策定・実行される。 ②戦略策定・マーケティング能力、市場開発能力、貿易振興能力、生産・品質管理能力 ③輸出振興のための戦略(マーケティング、部ランディング)およびその手法・商品、サービスに関する国際基準・事例研究(進出、投資事例、海外ニッチ市場展開例など)	現職・資格・知識: 日系団体・企業の市場開発・貿易振興担当者 経験年数: 3年 年齢: 21歳~50歳 学歴: 不問 日本語能力初級後半 他言語: 通訳配置可能性有 教材: 日本語or英語	公益財団法人 北九州国際技術協力協会	中島 康紀 NAKASHIMA Yasunori (Mr) Mail : nakashima@kita.or.jp Site: http://www.kita.or.jp/	JICA九州
C15	集団	「和食」ビジネス振興	6	下	2017/11/5	2017/11月	①日系経営者・起業家が日本食ビジネス振興のために経営能力等の飛躍的な向上を図る。 ②日本食品生産育成能力、日本食品優位戦略策定能力、食品ビジネス起業能力、日本食品開発能力、経営者能力、リーダーシップ・人材育成能力、5S実践能力、顧客満足経営能力の習得 ③日本食品体験・視察(食材・調味料・味噌・醤油等、日本料理—郷土料理・蕎麦料理等)、日本食品関連経営・事業家能力向上(農業の6次産業化、日本型経営、顧客満足経営、人材育成・コーチング、経営・マーケティング戦略、産学官連携)、日本食品関連全般(食器・食品廃材利用等)	現職・資格・知識: 日系団体・NPO・NGOの幹部、日系中小企業経営者・経営幹部、日系企業家、日本食品関連日系事業家、日本食品関連日系コンサルタント 学歴: 不問 経験年数: 3年 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級後半 他言語: 通訳配置可能性有 教材: 日本語or英語	公益財団法人 北九州国際技術協力協会	三木 義男 (MIKI Yoshio (Mr)) Mail : y-miki@kita.or.jp Site: http://www.kita.or.jp/	JICA九州
C16	集団	中小企業振興	6	上	2017/6/25	2017/7月	①日系人リーダーとして中小企業振興のための能力向上を図る。 ②中小企業振興能力、経営管理能力、リーダーシップ・人材育成能力、戦略策定・マーケティング能力、精算・品質管理能力、創造的思考能力、経済団体運営能力の習得 ③経営管理、人材育成・コーチング、経営・マーケティング戦略、一村一品運動(農業協同組合、女性起業グループ)、中小企業振興施策(産学官連携、農商工連携など)、創造的思考法(ブレイクスルー思考)	現職・資格・知識: 日系団体・NPO・NGOの幹部、日系中小企業経営者・経営幹部 経験年数: 3年 年齢: 21歳~50歳 学歴: 大卒(相当) 日本語能力初級後半 他言語: 通訳配置可能性有 教材: 日本語or英語	公益財団法人 北九州国際技術協力協会	三木 義男 (MIKI Yoshio (Mr)) Mail : y-miki@kita.or.jp Site: http://www.kita.or.jp/	JICA九州
C17	集団	グローバルニッチトップ企業に学ぶものづくりと人づくり	15	上	2017/6/25	2017/7月	①研修員がものづくり日本企業の強みである技術力や品質の高さの本質を理解するとともに、なぜ「ものづくりは人づくりであるか」なども理解し、そのノウハウを習得する。 ②1. 研修員が日本企業の強みを理解することで自国企業との差異を認識する。 2. 研修員が日本企業の事例をもとに、ものづくり、人づくりに何が一番大事であるかを理解し、その根本となる要因を整理する。 3. 日本企業の事例を参考に、研修員が自国で活用可能な仕組みや考え方を整理する。 4. 研修員が、帰国後の具体的な実践計画を作成する。 ③1. 講義・討議: 「日本企業の強み」「日本企業の技術力・品質力」「ものづくりは人づくり」「人を大切にする経営」 2. 視察・懇談: グローバルニッチトップ企業6社の研究(ケース・スタディ) [内、5社を訪問] 3. 体験: 「さぬきうどんづくり」 4. 日本文化理解: 「栗林公園」「古寺」 5. 演習: 「行動計画」作成 6. 発表: 「行動計画」発表	現職・資格・知識: 企業経営者・経営幹部等の企業経営に関わるものが望ましい 経験年数: 5年 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級後半、日本語能力試験N4以上が望ましい 他言語: ポルトガル語通訳配置可能性有	特定非営利活動法人 グローバル四国	河内 正則 KAWAUCHI Masanori (Mr) kawa- family@mx8.tiki.ne.jp	JICA四国
C18	集団	日系ネットワーク強化を通じた地域振興	6	上	2017/7/23	2017/8月	①ダイバーシティ・ネットワークマネジメント力を有する日系青年リーダーを育成する。日系ネットワーク強化を通じた地域振興アクションプランを創造する。 ②1. 新たな日系ネットワークの構築と強化のアイデアと斬新な発想力を有するマネジメント力を習得する。 2. 多様化した日系社会のアイデンティティをシナジーさせた地域振興プランの具体的なヒントを得る。 3. 日系研修青年とローカルユースとの交流をとらえて日系社会に持続可能な新たなネットワークが構築される。 ③講義: よさこい祭りと地域振興、ダイバーシティにおけるリーダーシップ論、青少年グローバルリーダー育成、フォーラム、よさこい祭りがもたらす様々な波及効果 視察: 高知よさこい情報交流館、高知城、高知城歴史博物館 実技・実習: よさこい囃子踊り、青少年グローバルリーダー育成フォーラム 発表: 日系社会の現状(カントリーレポート)、アクションプラン(研修成果報告) その他: 高知県表敬、ホームビジット “青少年グローバルリーダー育成フォーラム” 研修ポイント: 「青少年グローバルリーダーの育成」「研修企画・運営の手法」「青少年のニーズ」「様々なリーダーの条件」「ローカルユース(高校・大学生、社会人)が参加するワークショップを体験」「よさこい祭り」 研修ポイント: 「アイデンティティの確立」「広域ネットワークの構築」「経済的波及効果」「青少年の健全育成」「よさこい囃子踊り子隊に参加」	現職・資格・知識: 日系社会でのリーダー的役割を期待できる人材 経験年数: 不問 年齢: 不問 ポルトガル語通訳配置可能性有	高知希望工程基金会	山中 茂 YAMANAKA Shigeru (Mr) chinatu6732@ybb.ne.jp	JICA四国

案件No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体(研修実施機関等)	連絡先	所管センター
C19	集団	経営力向上のための自主研修組織運営	7	上	2017/6/25	2017/7月	①研修員が、自主研修組織を組織し運営していくための手法を理解し習得する。 ②1.研修員に、自主研修組織の概要・意義が理解される。 2.研修員に、自主研修組織の手法が習得される。 3.日本の研修組織運営を参考に自国で応用可能な組織を考案する。 4.研修員が、帰国後の具体的な実践計画を作成する。 ③1.講義:同友会の概要、公的組織との違い、同友会における実践 2.視察:同友会本部、とち支部視察、会員企業訪問、各種会合参加、全国総会参加 3.実習:組織運営計画立案 4.発表:内部及び関係先	現職・資格・知識: 自主研修組織に興味を持つ企業経営者、経済系行政職員、経営者団体の事務局・役員 経験年数:1年 年齢:21歳~50歳 学歴:大卒(相当) 日本語能力上級、日本語能力試験N4以上 他言語:通訳配置可能性有	一般財団法人 北海道中小企業化同友会とち支部	岩本 聖史 IWAMOTO Satoshi (Mr) kaigai@hokkaido.doyu.jp http://tokachi-obihiro.doyu.jp/	JICA帯広
C20	集団	6次産業化、農商工連携	8	下	2017/10/1	2017/10月	①研修員が、6次産業化・農商工連携に係る知見を習得する。 ②1.研修員に、日本の6次産業化・農商工連携の全体像が理解される。 2.研修員に、日本の6次産業化・農商工連携の手法が習得される。 3.日本の6次産業化・農商工連携を参考に、自国で応用可能なアイデアを考案できる。 4.研修員が、帰国後の具体的な実践計画を作成する。 ③1.講義:6次産業化・農商工連携の概要、日本・帯広の農業、農業経営等 2.視察:6次産業化を実践している農家、法人 3.実習:事業計画の実践、加工及びサービス・販売を体験 4.発表:内部及び関係先	現職・資格・知識: 農業経営、農業協同組合、農業系行政に従事する者 経験年数:3年 年齢:21歳~50歳 学歴:大卒(相当) 日本語能力初級後半 他言語:通訳配置可能性有	一般財団法人 北海道中小企業化同友会とち支部	岩本 聖史 IWAMOTO Satoshi (Mr) kaigai@hokkaido.doyu.jp http://tokachi-obihiro.doyu.jp/	JICA帯広
C21	集団	音楽リハビリ・プログラム	10	下	2017/11/5	2017/12月	①・音楽リハビリ認知症対応版・プログラムの理論と実践を習得する・帰国後に現地でリハビリの実施やスタッフ等の指導、訓練ができる人材の育成・日本国と日系社会との新たな関係構築のための交流を促進する・帰国後の技術的フォローや現地での発展的活動のための日系研修員、県、日系人関係団体とのネットワーク構築 ②・高齢者の介護に必要な知識の向上、寝たきり予防の取り組みを理解する・認知症患者の対応プログラムを習得する・様々なアクティビティを通じて、認知症患者の生活の質を向上させる・リラクゼーションヨガ・リズム運動・音楽演奏の3つのプログラムの運営管理手法を習得する・音楽を活用した運動、精神ケア、脳の活性化訓練の手法を習得する ③・講義:研修会場にて、施設長などの講義の実施・実習・OJT:リハビリプログラムの実演・見学・ゆらリズム施設の見学、石巻仮設住宅や震災跡地の視察・演習:ゆらリズム等でご利用者様向けのプログラム実施・発表:研修内容についてのレポート作	現職・資格・知識: 高齢者福祉を中心とした保健医療福祉業務に従事している者(看護師や介護士の資格あれば尚可) 経験年数:不問 年齢:21歳~50歳 学歴:大卒(相当) 日本語能力初級前半 他言語:通訳配置可能性有	株式会社ゆらリズム	菊地 義仁 KIKUCHI Yoshihiro (Mr) Mail: kikuchi.yura@gmail.com Site: http://yura-rhythm.com/	JICA東北
L1	長期	施設栽培を利用した高品質園芸作物生産(花卉・苗生産コース)	2	上	2017/5/14	2018/1月	①園芸生産施設規模に合わせた高品質園芸作物生産技術の習得および技術指導者が養成される ②1.当機関に併設されている高度化セル成型苗生産システム内での花卉に関するセル成型苗生産技術、ポット苗生産技術、鉢花生産技術などの一連の最新の生産技術を習得する2.学外の関連協力施設での生産技術研修を実施し、日本国内の花卉生産の実際の生産現場や流通、小売の現状を幅広く理解する ③1.生産技術の習得を主眼とした研修、2.閉鎖型植物生産システム(植物工場)内での育苗技術3.セル成型苗生産技術(種子の品質、播種容器の選択、播種用土、播種、育苗管理、発芽促進法、灌水、施肥、出荷)、花壇苗生産技術(品種の選択、移植技術、肥培管理、病害虫防除、生長調節、出荷調整、鉢苗の品質)、鉢花生産技術(品種の選択、肥培管理、病害虫防除、生長調節、出荷調整、鉢花の品質)、農業利用、品質保持、流通などについての講義及び実習4.必要に応じて市場及び産地見学	現職・資格・知識: 農業後継者として意欲のある者、農業もしくは園芸に関する業務に携わっている方 学歴:農業専門教育を受けていることが望ましい。 年齢:21歳~50歳 日本語能力初級後半、日本語能力試験N3以上の取得者が望ましい。	国立大学法人 千葉大学	渡辺 均 (WATANABE Hitoshi) (Mr) Mail: watanabe@faculty.chiba-u.jp Site: http://www.fc.chiba-u.jp/	JICA横浜
L2	長期	Agro-Biodiversityの保全を目指した土壌管理手法	1~3	上	2017/5/14	2017/11月	①持続可能な農法を習得するとともに、住民参加型手法による土壌管理技術や生物多様性の保全について習得する。 ②中南米で適用可能な持続可能な農法を習得するとともに、生物多様性に配慮しつつ長期的に農業生産量を維持できる土壌管理技術を習得できる。 1.中南米で適用可能な持続可能な農法を習得する。 2.土壌管理および生物多様性の保全に関する体系的な知識を習得する。 3.参加型農村調査法(PRA)を習得する。 4.プロジェクトサイクルマネジメント(PCM)の習得を通してプロジェクトの立案・実施する能力が向上する。 ③1.実習:有機農業資材の作成法、有機農業実習等 2.演習:住民参加型手法(PRA)、プロジェクトサイクルマネジメント(PCM)等 3.フィールドワーク:日本の里地里山で適用されている土壌保全対策とAgro-Biodiversityの見学 4.講義:Soil Physics, Agriculture and Environment、里山保全、地形地質学、地域環境保全学、Agro-Environmental Engineering, Farmland Environment等 5.実験:自然資源利用・管理に関する専攻実験、基礎実験 6.調査:土壌中動物の多様性に基づいたAgro-Biodiversityの評価等 7.セミナー:各種科目のセミナー、他大学院生との意見交換等 8.発表:中間発表と最終発表を予定。内外から有識者の出席を得て実施	現職・資格・知識: 環境や農業に関連する知識または経験を有するものが望ましい 年齢:21歳~50歳 日本語能力:日常会話ができるものが望ましい(英語能力の高いものが望ましい)	特定非営利活動法人環境修復保全機構	三輪 幸司 MIWA Koji (Mr) hq-erecon@nifty.com www.erecon.jp	JICA横浜
L3	長期	バイオテクノロジー	2	上	2017/5/14	2018/2月	①現在の日本の取り組んでいるバイオテクノロジーの基本技術と応用の概要、およびその課題を学び、それぞれの国の課題に対応できる知識と技術に立脚した実践的能力を身に付ける。 ②遺伝子組換え技術、遺伝子解析技術、生化学的分析手法、機器分析法、そして新規物質探索・開発などの基礎および応用技術を習得し、それらの成果の効率的なプレゼンテーション技術を獲得することができ ③研修内容は、調査研究に対応するために必要な講義と実習、そして必要な見学・研修旅行を組み合わせて構成されている。また、冒頭には技術指導能力の根幹となるコンプライアンスを確立するための講義が充てられている。ただし、バイオテクノロジーの網羅する範囲が広い。研修生の実態に合わせ修正する余地は十分に残している。こうした柔軟かつきめ細かい研修内容でこそ、解決に必要とされる指導能力が育成され、効果的な日系研修員受入システムとなり得る。	学歴:大学学部卒 経験年数: 実務または研究開発経験2年程度以上が望ましい 年齢:21歳~50歳 日本語能力:日常英会話レベルの英語力	国立大学法人 横浜国立大学	山本 容子 (YAMAMOTO Yoko) (Ms) Mail: kokusai.kikaku@ynu.ac.jp Site: http://www.ynu.ac.jp/english/index.html	JICA横浜
L4	長期	ユネスコMAB計画による生物圏保存地域を対象とした持続可能性科学	1	上	2017/5/14	2018/2月	①trans-disciplinaryな持続可能性科学の理論と実践を習得する ②地域振興と自然保護の両立を図るユネスコMAB計画の理念を学び、また日本の生物圏保存地域の現地に赴き地元市民の合意形成課程を体験し地域行政と科学者の役割を学ぶことで、trans-disciplinaryな持続可能性科学の理論と実践を習得する。 ③・生物圏保存地域や他の自然保護区制度、地域振興策、それらの関係について日本と母国の比較、ゼミ発表、共同研究 1.講義・実習:ユネスコMAB計画概論、Environmental infrastructure-Theory of Ecological Risk Management(各講義および実習)、対馬市域学連携事業「島おこし実践塾」(全国の学生院生を対象とした地域振興のための講義と実習:本申請担当者も講師として参加) 2.調査:日本の7BR(屋久島、綾、白山、大台ヶ原・大峯山、志賀高原、南アルプス、只見)および登録検討地域から先方の都合により設定 3.見学・研修旅行:2に同じ 4.発表:JICA最終成果発表会指導	経験年数:3年 学歴:大学学部卒 年齢:21歳~50歳 日本語能力:最低限の意思疎通が可能なレベル(具体的な交渉の場において会話を聞き取れるレベルであればなお望ましい) 英語能力:英字新聞が理解できるレベル 1)自然資源の持続的活用による地域振興を研究する 研究員および大学院生が研修のアシスタントを行う(英語対応可能)。 2)松田裕之教授担当で提案する本制度研修の計画と関連する部分については、相互連携して進める。	国立大学法人 横浜国立大学	山本 容子 (YAMAMOTO Yoko) (Ms) Mail: kokusai.kikaku@ynu.ac.jp Site: http://www.ynu.ac.jp/english/index.html	JICA横浜

案件No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体(研修実施機関等)	連絡先	所管センター
L5	長期	医用材料と再生医療	2	上	2017/5/14	2018/2月	①医療用材料、再生医療に関する知見および技術を習得する ②1.生体材料の設計および創製技術を習得する2.細胞培養技術を習得する3.生体分子の各種分析技術を習得する4.各種顕微鏡による細胞の可視化技術を習得する ③1.講義：人工臓器、細胞と組織、再生医療等2.実験：バイオマテリアルの設計、細胞培養実験、タンパク質の分析、遺伝子発現の分析等3.学会：国内外の当該専門分野の学会における発表(成果次第)4.発表：研究室内でのセミナー(毎月)、最終報告発表会(学内、研修最終日)	年齢：21歳～50歳 日本語能力初級前半 他言語：英語対応可	国立大学法人 横浜国立大学	山本 容子 (YAMAMOTO Yoiko (Ms)) Mail: kokusai.kikaku@ynu.ac.jp Site: http://www.ynu.ac.jp/english/index.html	JICA横浜
L6	長期	植物遺伝資源の多様性保全に関する先端科学教育	5	上	2017/5/14	2018/2月	①最先端バイオテクノロジーを用いた植物遺伝資源の多様性解析、機能的開発、高生産性研究技術習得と人材育成 ②1.植物遺伝資源研究の知識向上2.各種バイオテクノロジー実験技術3.遺伝資源および多様性保全技術4.植物の機能的開発技術5.高生産性作物開発研究技術6.研究ネットワーク構築7.人材育成 ③1.植物遺伝資源および最先端バイオテクノロジー(座学)、2.バイオテクノロジー実験技術3.OJTによる植物遺伝資源の多様性解析技術4.OJTによる植物有用遺伝子の解析技術5.植物の機能的解析・開発技術6.高生産性作物開発の研究・評価7.学会参加・発表	学歴：大学におけるライフサイエンス修得レベル(大学院入学資格同等以上) 経験年数：大学における必要資格に相当するレベルの習得に要した年数 年齢：21歳～50歳 日本語能力：初級前半 他言語：英語でのコミュニケーションが可能ならざれば可	公立大学法人横浜市立大学	坂智広 (BAN Tomohiro (Mr)) Mail: tban@yokohama-cu.ac.jp Site: http://www.yokohama-cu.ac.jp/index.html	JICA横浜
L7	長期	日系医学	4	上下	相談可能(9か月以内)		①医学における各専門分野の最先端技術に関する知識および技術を習得する ②1.各専門分野における最先端医療の知識向上2.各種医療器具の操作技術3.診断技術4.手術技法5.術後ケア6.研究ネットワーク構築 ③1.臨床例による座学2. OJTによる診断技術3.医療機器の操作技術4.手術見学5.現地の臨床例の研究・評価6.学会参加・発表	学歴：大学医学部卒業 経験年数：1年 年齢：21歳～50歳 日本語能力初級前半 ※原則、日本語で実施。ただし研修実施場所において英語での研修が可能であり、かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談。 ※本コースに参加希望の方は、事前に本リスト担当者(海外日系人協会 水上)に連絡を入れること。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
L8	長期	日系歯学	4	上下	相談可能(9か月以内)		①歯学における各専門分野の最先端技術に関する知識および技術を習得する ②1.各専門分野における最先端医療の知識向上2.各種医療器具の操作技術3.診断技術4.手術技法5.術後ケア6.研究ネットワーク構築 ③1.各専門分野における最先端医療の知識向上2.各種医療器具の操作技術3.診断技術4.手術技法5.術後ケア6.研究ネットワーク構築	学歴：大学歯学部卒業 経験年数：1年 年齢：21歳～50歳 日本語能力初級前半 ※原則、日本語で実施。ただし研修実施場所において英語での研修が可能であり、かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談。 ※本コースに参加希望の方は、事前に本リスト担当者(海外日系人協会 水上)に連絡を入れること。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
L9	長期	日系保健福祉	4	上下	相談可能(9か月以内)		①保健福祉における各専門分野の最先端技術に関する知識および技術を習得する ②1.各専門分野における最先端医療福祉の知識向上2.各種医療器具等の操作技術3.診断技術4.指導技術5.マネージメント6.研究ネットワーク構築 ③1.各専門分野の最先端医療福祉の知識向上2.各種医療器具等の操作技術3.診断技術4.指導技術5.マネージメント6.研究ネットワーク構築	学歴：医療福祉分野の専門教育を受けている者 経験年数：1年 年齢：21歳～50歳 日本語能力初級前半 ※原則、日本語で実施。ただし研修実施場所において英語での研修が可能であり、かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談。 ※本コースに参加希望の方は、事前に本リスト担当者(海外日系人協会 水上)に連絡を入れること。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
L11	長期	家畜感染症及び人獣共通感染症の診断予防技術	2	上	2017/5/14	2018/2月	①1.畜産及び公衆衛生上重要な感染症の診断、治療、予防に関する知識、技術及び考え方を習得する2.上記を活用して、感染症予防対策に関わる情報資源の作成・配信の方法を学ぶ ②1.当該地域における家畜の衛生管理及び疾病の診断・予防技術が向上する2.家畜疫病制御のための国家間情報ネットワークが構築される3.当該地域の日系社会における畜産や医療技術を発展させる 4.日本文化や今日の日本社会、日本の国際的立場を理解する ③1.講義：家畜感染症及び人獣共通感染症の診断予防(寄生虫学、細菌学、ウイルス学)、ウシノ乳房炎、牛の感染性及び伝染性要因による流産、家畜のワクチン使用の原理、食肉類からの細菌及び寄生虫分離と同定、抗生物質抵抗性細菌の出現、ウシノウイルス感染症と検査法、血液寄生虫、反芻動物の寄生虫の同定と制御、大動物臨床における寄生虫病の実態(駆虫薬・殺虫薬、人獣共通感染症の現状)等2.実習・実験：寄生虫学・分子生物学(糞便内虫卵検査浮遊法、沈澱法、定量的検査法)、子虫培養(びん培養、濾紙培養、五版培養)、反芻家畜の胃腸内線虫感染子虫の形態による種同定、血液寄生虫病原体、吸血観察、中間宿主体内の吸血の発育観察、糸虫標本の観察と作製、線虫の形態観察、ダニ類の観察と標本作製法、分子生物学手法等3.見学：家畜保健所、食肉衛生検査所、酪農試験場等4.学会、セミナー：計画中5.発表：学内、研修最終日	現職・資格・知識：生物学の基礎知識を持つ者、畜産従事者または公衆衛生学あるいは臨床検査学に関わる者 年齢：21歳～50歳 学歴：不問 年齢：不問 日本語能力初級前半 ※来日後日本語の習得もしてください。 他言語：研修は英語対応可	学校法人 麻布大学	黄 鴻堅 (OOI Hong Kean) Mail: hkooi@azabu-u.ac.jp Site: http://www.azabu-u.ac.jp/	JICA横浜
L12	長期	日本社会における起業スキルの習得(経営方法・マーケティング・営業)	1	上	2017/6/25	2017/12月	①島根県内の企業支援団体等での経験を通し、日本における起業の方法及び行政の支援の仕組みを習得する。 ②日本の企業の経営マネジメント・経営戦略の知識を現場で学ぶことで、母国での企業経営に活かすことができる。 ③島根県内の企業支援団体等での実習。	現職・資格・知識：ビジネス(経営マネジメント)分野の基礎知識 経験年数：ビジネス分野の基礎知識、企業での勤務経験2年以上 年齢：21歳～50歳 日本語能力中級以上	島根県	石倉 真由美 (ISHIKURA Mayumi (Ms)) Mail: ishikura-mayumi2@pref.shimane.lg.jp Site: http://www.pref.shimane.lg.jp/	JICA中国
L13	長期	和牛等の高品質家畜生産のための効率的・効果的な生産、繁殖、健康管理	1	上	2017/5/14	2018/2月	①最新の畜産学・獣医学の知見の習得と共に、高品質畜産物の生産現場での実習に基づき、生産と共に両立させるべき繁殖管理も円滑に進めるための問題要因を抽出・解析する能力を習得し、新しい効率的な疾病予防、繁殖、衛生管理を含む総合体系を導入・展開するための基礎を習得する。 ②1.高品質畜産物を生産する上で求められる最新の栄養学、生理学、衛生学等の獣医学、生産効率向上と繁殖についての知識・知見の習得 2.生産にかかわる細胞や遺伝子について、分子レベルや細胞レベルでも家畜生産について考える能力の習得 3.牛肉生産施設訪問を通じた改善ポイントの習得。 ③1.最新の栄養学、生理学等の講義、実習2.牛肉の格付け方法3.生産に係る細胞培養、遺伝子発現解析等への挑戦4.臨床獣医師養成用の実習等への参加5.山口県内をはじめ日本国内の牛肉生産のための重要な施設の訪問	現職・資格・知識：基礎的な動物の知識 獣医、畜産農家(就農希望者含む) 年齢：21歳～50歳 学歴：大学学部卒業 経験：不問 日本語能力：初期後半 他言語：英語対応可能	国立大学法人 山口大学 共同獣医学部	服部 直樹 (HATTORI Naoki (Mr)) Mail: sh031@yamaguchi-u.ac.jp Site: http://www.vet.yamaguchi-u.ac.jp/	JICA中国
L14	長期	観光果樹園経営及び果樹栽培収穫技術(長期研修)	4	上	2017/5/14	2017/11月	①1.果樹(イチゴ、スモモ、ブルーベリー、モモ、ブドウ等)の先端栽培管理技術を習得する2.加工技術と商品化、マーケティングのノウハウを習得する3.観光果樹園の経営手法を習得する ②1.果樹栽培管理技術2.加工品の商品化、販売ルートの開拓、観光農園経営 ③平田観光農園での実習	現職・資格・知識：日本語で受講可能な日本語能力を有していること 年齢：21歳～50歳 学歴：大学学部卒業 経験：不問 日本語能力初級後半、日本語能力試験N3以上	公益財団法人ひろしま国際センター 有限会社平田観光農園	永島 実緒子 (NAGASHIMA Miko (Ms)) Mail: hicc12@hiroshima-or.jp Site: http://www.marumero.com/	JICA中国

案件No.	コース種別	コース名	人数	学期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体(研修実施機関等)	連絡先	所管センター
L15	長期	栄養管理の臨床体験型研修	1	上	2017/5/14	2018/3月	①日本における栄養・給食の内容や状況を学び、日常業務を通して栄養管理、給食管理の考え方を体験する。 ②・管理栄養士業務の習得 ・患者や他スタッフとのコミュニケーションスキルの向上 ③・栄養管理 ・給食管理	経験：1年 年齢：21歳～50歳 日本語能力中級、日本語能力試験N2以上	医療法人 徳洲会 札幌東徳洲会病院	松村 由香里 (MATSUMURA Yukari (Ms.)) Mail: kokusai@tohtoku.jp Site: http://www.higashi-tokushukai.or.jp/	JICA札幌
L16	長期	リハビリの臨床体験型研修	1	上	2017/5/14	2018/3月	①理学療法、作業療法、言語聴覚療法それぞれの基本的知識、技術を学ぶと共に、患者とのふれあいを通じて、コミュニケーションの重要性を学ぶ。 ②・リハビリテーションの基礎を習得・リハビリテーション器具の機能、取扱いを習得・患者や他のスタッフとのコミュニケーションスキル向上 ③・理学療法 作業療法 言語聴覚療法	現職・資格・知識:理学療法士・作業療法士・言語聴覚士いずれかの資格保持者 経験：1年 年齢：21歳～50歳 日本語能力中級、日本語能力試験N2以上	医療法人 徳洲会 札幌東徳洲会病院	松村 由香里 (MATSUMURA Yukari (Ms.)) Mail: kokusai@tohtoku.jp Site: http://www.higashi-tokushukai.or.jp/	JICA札幌
L17	長期	介護の臨床体験型研修	1	上	2017/5/14	2018/3月	①介護における基本的知識、技術を学ぶと共に、患者とのふれあいを通じて、コミュニケーションの重要性を学ぶ。 ②・介護の基礎を習得・高齢者福祉制度の知識を習得 ・患者や他のスタッフとのコミュニケーションスキル向上 ③・介護学 ・老人介護	経験：1年 年齢：21歳～50歳 日本語能力中級、日本語能力試験N2以上	医療法人 徳洲会 札幌東徳洲会病院	松村 由香里 (MATSUMURA Yukari (Ms.)) Mail: kokusai@tohtoku.jp Site: http://www.higashi-tokushukai.or.jp/	JICA札幌
L18	長期	作業療法	1	上	2017/5/14	2018/2月	①作業療法教育及び臨床実践 ②1.成人中枢神経障害、運動障害、発達障害、神経障害に対する作業療法2.高齢者の住宅・施設生活での作業療法3.作業療法研究法 ③1.学部・大学院授業の聴講、2.臨床作業療法の見学、3.作業療法関連学会、技術講習会への参加、4.日本人学生・大学院生との交流会、5.現地の関連施設の見学	現職・資格・知識:理学療法士または作業療法士 経験：2年 年齢：21歳～50歳 日本語能力初級後半、日本語能力試験N3以上	札幌医科大学	仙石 泰仁 (SENGOKU Yasuhiro (Mr.)) Mail: sengoku@sapmed.ac.jp Site: http://web.sapmed.ac.jp/	JICA札幌
L19	長期	理学療法	1	上	2017/5/14	2018/2月	①基礎的理学療法を理解し、日本における理学療法の役割や機能を説明できること ②1.成人中枢神経障害、小児発達障害、運動障害、呼吸循環器障害の理学療法2.地域における高齢者に対する理学療法のサービス(介護予防を含む)3.スポーツ外傷障害に対する治療、予防のための理学療法 ③1.学部・大学院授業の聴講、2.臨床理学療法の見学、3.理学療法関連学会、技術講習会への参加、4.日本人学生・大学院生との交流会、5.現地の関連施設の見学	現職・資格・知識:理学療法士 経験：2年 年齢：21歳～50歳 日本語能力初級後半、日本語能力試験N3以上	札幌医科大学	理学療法学科 学科長 片寄 正樹(KATAYOSE Masaki (Mr.)) Mail: katayose@sapmed.ac.jp Site: http://web.sapmed.ac.jp/index.html	JICA札幌
L20	長期	GIS・GPS・リモートセンシング技術による農地・森林評価及び野生動物生息地の管理手法	3	上	相談可	2018/2月	①農業、森林、環境管理に必要なGIS技術、リモートセンシング技術、ドローンの活用技術を習得する ②下記の様な技術を習得できる。1)GIS技術:GISソフトArcGISの基本的な操作、解析手法を習得する。 2)GPS技術:GPSによる農地計測、デジタルカメラとGPSを利用した農地管理、野生動物へ装着するGPSによる野生動物の行動解析手法を習得する。3)リモートセンシング技術:ErdasImagine、ENVIなどリモートセンシングソフトを利用し、Landsat、Alosなどの人工衛星画像や空中写真などから、緑地抽出手法、収量予測手法などを習得する。 ③本学で開講している、基礎GIS、応用GIS、リモートセンシング概論、フィールドGISGPS実習など、関連科目を履修するとともに、環境GIS研究室において開講している高度なGIS技術を習得する専門演習に参加し、技術の向上を図る。また、出身国(地域)の実際のGISデータ、衛星画像等を使い、ソフトの操作手法のみならず、帰国後にすぐに利用できるデータベースを構築する。研究成果は、学会等で発表する。また、東京・京都などの先進地を訪ね、今後の共同研究のネットワークづくりを行うとともに、GIS、リモートセンシングを活用した森林管理(REDD)や野生動物管理に関するJICA研修へも参加し、研究及び情報交流を図る。	現職・資格・知識:表計算ソフトの操作など、基本的なコンピュータ操作が可能なおこと。 日本語能力中級、日本語能力試験N2以上 ※研修内容については充実した研修とするため可能な限り、個別対応します。	酪農学園大学	金子 正美 (KANeko Masami (Mr.)) Mail: kaneoko@rakuno.ac.jp Site: http://www.rakuno.ac.jp/	JICA札幌
L21	長期	食品科学と栄養管理	2	上	2017/5/14	2018/3月	①1.最新の食と栄養に関する知識を学ぶ 2.高齢者のQOL維持のための栄養管理を学ぶ 3.和食の持つ栄養学的な特性和調理技術を習得する 4.日本の「国民健康・栄養調査」もしくはFFQに類する調査の手法を学び、栄養疫学的見地から母国での疫学調査実施の基礎を学ぶ。より関心があれば国際共同研究を行う上での知識を習得する 5.研修員が帰国後、食に関する報告会、料理講習会を開催・運営出来る能力をつける ②1.食と健康に関する知識、技術の習得は、特別な道具、資金を使わずに医療費を削減し、ヒトとしての尊厳を守り、高齢者にとってはQOLの維持において大きな力となる 2.栄養学、栄養管理、和食、食文化についての知見を増やすとともに、日本の家庭料理、和食の技術を習得する 3.我が国の「国民健康・栄養調査」、FFQに類する調査を日系社会で実施する上での知識の習得。 ③1.講義・演習と実習:栄養学、栄養管理、食品の研究、新規食品の開発、分析実験、化学実験、衛生管理、和食の実習、特別食実習等をはじめ、日本の食文化への知見を深める。演習では、日本の食の歴史、日本の「食成分表」、「国民健康・栄養調査」、「食事摂取基準」の策定に関する栄養学の基礎知識を系統立てて学ぶ 2.学外研修:事前に食文化に関する演習を行った上で、食の研修旅行(関西)を実施。伝統的な発酵食品などの製造元を訪問 3.ワークショップ:大学で「国際」「食」をキーワードに行う 4.施設見学:総合病院、高齢者施設での食事提供、栄養管理を見学 5.関連する学会への参加:希望があれば地方学会で発表も可能。研修成果を学内で報告する「学内報告会」を開く ※研修内容については充実した研修とするため可能な限り、個別対応します	現職・資格・知識:食品・栄養に関する基礎的な知識を有し、食への関心があること 年齢:21歳～50歳 日本語能力中級、日本語能力試験N2以上 ※研修内容については充実した研修とするため可能な限り、個別対応します。	酪農学園大学	教授 石井 智美(ISHI Satoshi (Ms)) Mail: ishi@rakuno.ac.jp Site: http://www.rakuno.ac.jp/	JICA横浜
L22	長期	コンピュータ・グラフィックス(3DCG)クリエイター養成	3	上	2017/5/14	2018/3月	①3Dグラフィックス制作ができるコンピュータ・グラフィックス(3DCG)クリエイターを目指す人材を育成。3DCG制作ソフトのMAYA(※)の基本的な操作を学習し、主にキャラクターモーションデザイナーとして必要な一定レベルのアイデアや表現力を身につけることを目的とする。 ②CG技術の取得およびそれらに付帯(デッサン力・観察眼向上など)する技術の習得。 ③3DCGソフト(MAYA)の基本操作を学習・CGキャラクターモーション制作・3DCGモデリング・2DCGソフト(PhotoShop/Illustrator)の基礎操作およびデザイン演習	年齢:21歳～50歳 学歴:不問 日本語能力初級後半、日本語能力試験N3以上	学校法人吉田学園	Mail: toriyabe@yoshida-g.ac.jp Site: http://www.yoshida-jobi.jp/	JICA札幌
L23	長期	臨床薬学	2	上	2017/6/25	2018/3月	①臨床薬学に関連する研究テーマに取り組むことを通じて、また提携医療機関での臨床研修を体験することを通して、帰国後に母国の薬剤師職能の発展に寄与できる知識と技術を習得する。 ②日本の臨床薬学の研究は世界的にも高く評価されている。特定の課題研究に一定期間継続的に携わることを通じて臨床薬学関連分野の実験手法やデータ解析法を修得する。さらに、提携医療機関における臨床研修を通して日本の医療システムや薬剤師業務を総合的に学び、母国での医療の発展に寄与できる知識を修得する。また、日本で汎用されている医薬品に関する種々の情報を理解し、母国における医薬品の適正な活用法を学ぶ。 ③・臨床薬学に関する課題研究(予定:腎機能低下患者における医薬品の適正使用に関する研究)・母国と日本における生活習慣病並びにがん治療の現状の比較(調査研究)・提携医療機関における長期臨床研修(日本で汎用される医薬品、日本の医療システム、病院薬剤師業務などを学ぶ)・本学大学院薬学研究所における特論講義の受講・全国規模の関連学会への参加及び発表(日本薬学会又は日本医療薬学会)・薬剤師会開催の研修会/講演会への参加	現職・資格・知識:薬剤師免許 年齢:21歳～50歳 日本語能力初級後半、日本語能力試験N3以上	北海道医療大学	若木 悠太(WAKAKI Yuta (Mr.)) Mail: wakaki-y@hoku-iryo-u.ac.jp Site: http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/	JICA札幌

案件No.	コース種別	コース名	人数	学期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体(研修実施機関等)	連絡先	所管センター
L24	長期	歯科矯正学	1	上	2017/5/14	2018/3月	①矯正歯科治療に関する高度な技術の習得と最新の知見を学習する能力を身につける。 ②1.最新の矯正歯科技術(舌側矯正治療、インプラントアンカー治療、顎整形手術)の習得2.顎顔面領域のMRI、CTなどの画像データを用いた診断技術の向上3.変形性顎関節症患者に対する治療技術の習得 ③エッジワイス法に関するタイプドント実習、教室主催のセミナーや論文抄読会への参加、および関連学会への参加を予定。加えて、現在、当教室で遂行している研究(歯周組織再生、顎関節症や筋ジストロフィーなど難治性疾患の病態解明と治療法の開発)にも参画してもらい、帰国後に母国で学位が取得できるような研究指導を行う。	現職・資格・知識: 日系研修対象国における歯科医師免許取得者 学歴: 大卒(相当) 経験年数: 3年以上 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級後半 他言語: 英語での受験可能 教材: 日本語及び英語	国立大学法人徳島大学大学院歯薬学研究所・徳島大学病院 矯正歯科	田中 栄二 (TANAKA Eiji (Mr)) Mail: etanaka@tokushima-u.ac.jp horio@tokushima-u.ac.jp Site: http://www.tokushima-yoshizo.com	JICA四国
L25	長期	歯科補綴学	1	上	2017/5/14	2018/3月	①歯科補綴治療に関する先進技術の習得と最新の知見を学習する能力を身につける。 ②1.最新の歯科補綴治療技術(接着ブリッジ、インプラント義歯、CAD/CAM冠など)の習得2.かみ合わせの状態に対する診断技術の向上3.顎関節症に対する治療技術の習得4.金属アレルギーの治療技術の習得 ③シミュレーションロボットを用いた支台歯形成に関する実習、教室主催のセミナー・論文抄読会・症例検討会への参加、関連学会への参加を予定している。また、現在教室で行われている研究(睡眠時ブラキシズムの解析、顎関節症発症因子、金属アレルギー解析、口腔顔面痛に対する新規治療法の開発)にも参画して頂き、帰国後に学位取得が可能となるように研究指導を行う。	現職・資格・知識: 日系研修対象国における歯科医師免許取得者 経験年数: 3年以上 年齢: 21歳~50歳 日本語能力中級、専門用語理解 他言語: 英語での受験可能 教材: 日本語及び英語	国立大学法人徳島大学大学院歯薬学研究所・徳島大学病院 第2補綴科	松香 芳三 (MATSUKA Yoshizo (Mr)) Mail: matsuka@tokushima-u.ac.jp Site: http://www.tokushima-u.ac.jp/dent/	JICA四国
L26	長期	高齢者福祉	1	上	2017/5/14	2017/11月	①日本の介護福祉士の資格取得に求められる知識・技術の習得。自国の高齢者福祉介護の制度・手法の課題の整理。アクションプランの整理 ②1.日本の高齢者福祉制度の全体像の理解 2.日本の社会福祉施設・在宅福祉サービスの役割と利用者の生活全般の理解 3.日本の高齢者に対する介護の手法の技術・知識の習得 4.日本と自国の制度・介護手法の違いの整理 5.アクションプランの作成 ③1.講義:介護分野の専門用語、介護保険制度、専門職の役割、介護サービスの概要 2.実習・OJT:健康状況の把握、環境整備、体位と体位変換、移乗動作、移動・歩行介助、食事介助、排せつ介助、保清解除、衣服の着脱、整容の介助、リハビリテーション、デイケア、福祉機器の使用法 3.見学:他団体の施設・活動 4.演習:アクションプランの作成	現職・資格・知識: 日系社会で高齢者介護に携わっている者(日系人が利用する介護の団体に所属していることが望ましい) 経験年数:1年 年齢:21歳~50歳 日本語能力初級後半、日本語能力試験N3以上、会話重視	公益財団法人三重県国際交流財団	宇藤 美帆 UTO Miho (Ms.) mihomief.or.jp http://www.mief.or.jp/	JICA中部
L27	長期	知的財産法に関する基礎研修	2	上	2017/5/14	2017/10月	①(1)知的財産制度の基礎知識の習得 (2)研究開発・技術移転などの知的財産活用の習得 (3)中小企業(SMEs)を支援する知的財産支援について理解する (4)伝統的知識や医薬品アクセスの問題など個別イシューについて理解する ②1.経済活動や文化活動に必要な知的財産およびその活動を理解して適切な考慮ができる2.特許・商標の知識から権利取得までに必要な知識を習得する3.ライセンス契約や訴訟などの知的財産の活用や実現に必要なアクションを理解する4.設定した知的財産のテーマについて理解を深め、自国で実現するための計画や提案ができる ③1.基礎知識の習得―講義を中心に、特許・実用新案、意匠、商標、著作権法、不正競争防止法、独占禁止法など関連諸法について学ぶ 2.特許技術、登録商標や判例の調査・分析―技術データベース、法情報データベースを用いて必要な情報を収集し分析する演習 3.訪問調査―日本国内の関係官庁(特許庁、裁判所ほか)、関係団体(発明協会などの専門機関)、企業・事務所(代表的企業、中小企業、特許法律事務所)等のヒアリング調査 4.各自が設定した知的財産テーマの研究	現職・資格・知識: 必要資格:大学の学部レベルの教育をうけていること。 知的財産分野における経験があればのぞましい。 学歴:大卒(相当) 年齢:21歳~50歳 法律、経済、技術の分野において、少なくとも1年以上の経験を有すること。 日本語能力初級後半 通訳配置可能性無 講義は原則、英語により実施するので、受講に必要な英語力を有すること。 教材:日本語or英語	学校法人常翔学園大阪工業大学	村川 一雄 MURAKAWA Kazuo (Mr.) kazuo.murakawa@oit.ac.jp http://www.oit.ac.jp/	JICA関西
L28	長期	ネットワークエンジニア基礎(総合)	1	上	2017/5/14	2018/2月	①研修員にネットワーク技術全般に関わる基礎知識の全般を習得させることを基本とし、初級システムエンジニアとして、IT関連企業において中心的存在となり得る技術習得を目指すこととする。 ②ネットワーク工事のプロジェクトマネージャーを補佐・援助出来る知識の習得及び、CNA資格の取得 ③OJT形式での研修となるので、自発的に自らが知識向上・修得に向け実施する事が必要。1.講義:LAN、ネットワーク設計、メンテナンス、保守・サービス管理など 3.見学:交換設備(所内)、線路設備(光・地下・とら道)、ネットワーク監視センターなど 4.討議・発表	現職・資格・知識: 必要資格:通信関係に従事している者が望ましい、ネットワークの基礎知識を取得している者 経験年数:実務1年以上 学歴:大卒(相当) 年齢:21歳~50歳 日本語能力:OJTにおいて、日常会話が問題無く行える者 教材:日本語or英語	株式会社NTTフィールドテクノ関西支店	上田 則明 (UEDA Noriaki (Mr.)) Mail: noriaki.ueda@ntt-ft.co.jp Site: http://www.ntt-ft.jp/	JICA関西
L29	長期	日本のデザインと伝統技術	3	上	2017/5/14	2017/11月	①研修員が、日本の伝統工芸と最新デザインを理解し、日本のデザインの特質を学ぶことにより、日系人としてのアイデンティティを向上させて、日本のデザインを取り入れた製品やパッケージのデザインができるようになる。更に、日系人社会及び中韓米社会全体に日本のデザインを紹介することにより、日本文化の普及に寄与する。 ②デザイン分野は個人の興味の幅が広く、学ぶ対象も多様なものであるため、研修員個人にあわせた研修プログラムを作り、織物、染物、焼物、漆器、木工品など研修員の専門分野について、日本のデザインを活かし、且つ今日的な視覚伝達や製品をデザインする技術を習得する。 ③1.日本の伝統文化、伝統工芸技術の理解 デザイン学専攻の授業に参加して、各種重要文化財、京都市内にある各種伝統工芸工房視察を行うとともに、竹細工師、型紙師などの伝統工芸の名匠に直接会って話を聞くなど、日本の伝統文化に対する考え方について理解を深める。 2.最新のモダンデザイン情報の収集と理解 市内外の企業との製品開発プロジェクトや国内の展示会や講演会等への参加を通して、現代日本の最新デザイン状況とその成果およびデザインの考え方を修得する。 3.デザインの実践活動による研修(実習プログラム) 大学院授業での演習、研究室プロジェクトへの参加によって、デザインコンセプトの立案、マーケティングとデザイン、基本デザインから実施デザインへの展開方法、製造方法とデザイン、3D手法を駆使したデザイン表現技術、プレゼン技法とコミュニケーション、デザインワークにおける協業の方法などについて研修する。プロジェクトベースラーニングによる研修。 4.大学院生との交流 デザインを専攻する学生との交流を回り、将来のデザインを担う彼らのデザインアプローチを理解する事によって、日本のデザイン発想の特質や傾向について理解を深める。	現職・資格・知識: パッケージデザイナー、商品開発系グラフィックデザイナー。 総合的なデザイン力が必要となるため、グラフィックデザインやプロダクトデザインといった領域に固執しないデザイン領域への取り組みを行っている者が望ましい。 学歴:大卒(相当) 経験年数:3年 年齢:25歳~40歳 日本語能力初級後半、日本語能力試験N3以上 教材:日本語or英語	国立大学法人京都工芸繊維大学	吉田 倫子 YOSHIDA Tomoko (Ms.) tomokusa@jim.kit.ac.jp http://www.kit.ac.jp/	JICA関西
L30	長期	IoT(Internet of Things)	6	上	2017/5/14	2017/10月	①研修員が、IoTに関する背景・要素技術の必要性を理解し、帰国後にこれらの技術を有効に活用できるように、知識・技術を身に着けると共に、人間力育成にも取り組むことにより、国際的に有意な人材を育成する。 ②コンピュータビジョン・知能ロボット・組み込みソフトウェア・センサーネットワーク・農業土木・空間情報工学等において使用されるIoT(Internet of Things)の最新技術を提供する。研修員の各自のフィールドに合わせて、基本的な設計からソフトウェアもしくはハードウェアの実装技術を修得する。 ③6つのサブコース(センサーネットワーク・組み込みソフトウェア・コンピュータビジョン・知能ロボット・農業土木・空間情報工学)を取り込み、基本的な研修と研修員の希望に合わせた研修を実施する。	現職・資格・知識: 大卒相当または企業等におけるIT技術の経験 学歴:大卒(相当) 年齢:21歳~50歳 日本語能力初級前半 他言語:英語対応可	金沢工業大学	部谷 直宏 (HEYA Naohiro (Mr)) Mail: n.heyana@nptune.kanazawa-it.ac.jp Site: http://www.kanazawa-it.ac.jp/	JICA北陸

案件No.	コース種別	コース名	人数	学期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体(研修実施機関等)	連絡先	所管センター
S1	短期	高齢者介護サービス及び介護システムの構築	1~2	上	2017/5/14	2017/8月	①・日本の高齢者介護サービスの実際を学び、日系社会において、日系高齢者に適した介護サービスを提供できる人材を養成する。 ・認知症高齢者への介護サービスのあり方を学び、現地課題の解決に向けて応用できる人材を養成する。 ②1.日本の高齢者福祉制度の概要について理解する。 2.要介護高齢者の日常生活を支える「根拠に基づく介護技術」について習得する。 3.高齢者の尊厳を守るケアをどのように実践しているのかについて、日本の高齢者介護事業所での実習を通して理解する。 4.認知症高齢者への介護のあり方について理解する。 ③1.講義：日本の高齢者福祉制度の概要、要介護高齢者の尊厳を支え自立生活を促すケアの在り方、認知症高齢者の基礎的理解、高齢者に適したリハビリテーション(介護予防の視点から)、介護サービス事業所の理解(実習事業所を中心に) 2.演習：根拠に基づく介護技術の習得(本校の演習室にて) 3.実習：①通所系サービス(デイサービス、ケア)、②認知症高齢者へのサービス(高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護)③施設系サービス(介護老人福祉施設、介護老人保健施設) 4.実習の振り返り：上記①~④の実習における振り返りを行い、現地課題への応用を検討する。	現職・資格・知識： 日系社会で高齢者介護に携わっている 年齢：21歳~50歳 経験年数：1年 日本語能力初級後半、日本語能力試験N4以上	学校法人 国際学園	伊東 一郎ITO Ichiro(Mr) i_ito@yicsw.ac.jp http://www.yicsw.ac.jp	JICA横浜
S2	短期	特別支援教育	1~3	下	2017/10/1	2017/12月	①特別支援教育についての知識と実践力を習得し、当該国の教育現場に還元できる人材を育成する。 ②1.日本の特別支援教育全般を理解する 2.日本の特別支援教育の実践現場を実際に体験する 3.自国での特別支援教育の在り方が案できる ③1.講義：日本における特別支援教育の概要、特別支援教育の指導法等 2.実習・OJT；学校施設での授業、実習、現職教員からの実習指導 3.見学：本法人内の学校施設、関連機関の教育施設も見学 4.演習；クラス単位の実習と個別指導の実践 5.学会・セミナー；計画中 6.発表；教育実習同様に研究授業を行う	現職・資格・知識： 継承日本語教育実践教師、日系人学校教諭または大学教員・研究員 経験年数：2年 年齢：21歳~50歳 日本語能力中級程度 ※日本語で日誌をある程度書けること	学校法人 国際学園	伊東 一郎ITO Ichiro(Mr) i_ito@yicsw.ac.jp http://www.yicsw.ac.jp	JICA横浜
S3	短期	日系社会の幼児教育	1~3	下	2017/11/5	2018/2月	①幼児教育の理論および実践経験及びものごとを論理的に構築していく力、実験や観察に基づいて実証していく力、個々の専門分野に精通するだけでなくこれらを統合し発展させていく力を習得し、日系社会における幼児教育を通して、アイデンティティの継承を実践、推進できる人材を養成する。 ②1.幼児教育の基礎理論、教育課程及び指導法、幼児理解と保育相談法、レクリエーション論、日系社会と継承、健康科学論 子どもと音楽(理論と実践)、子どもと体育(理論と実践) 子どもと音楽(理論と実践)、情報処理(機器操作を含む)等についての専門知識を習得する 2.幼児教育専門技術を習得する+ ③1.講義：日本の幼稚園・保育園制度、幼児教育の重要性と留意点、幼児に対する特別支援教育の重要性等(大学での講義も含む)2.実習・OJT；幼稚園、保育園での保育実習 3.見学；星槎グループ内の保育園、幼稚園、中学校、高等学校、専門学校、大学の見学4.演習；傘下の幼稚園、保育園にて 5.学会・セミナー；計画中 6.発表；学内、研修最終日	現職・資格・知識： 継承日本語教育実践教師、日系人学校教諭または大学教員・研究員 ※カリキュラム構成は幼稚園教諭資格取得のためのカリキュラムの必須科目を中心に構成し、帰国後も本学の通信教育により、資格取得あるいは同等の能力が習得できるようにフォローアップすることを前提として構成している。 経験年数：2年 年齢：21歳~50歳 日本語能力中級程度 ※日本語で日誌をある程度書けること	学校法人 国際学園	田邊 充良・寺田啓高 TANABE Mitsuyoshi(Mr) TERADA Hirotaka(Mr) m_tanabe@seisa.ac.jp h_terada@seisa.ac.jp http://www.seisa.ac.jp/	JICA横浜
S4	短期	環境・防災に配慮した都市のデザイン・マネジメント	2	上	2017/5/14	2017/8月	①1.環境・防災に配慮した都市デザイン・マネジメントに係る基礎的理論と考え方を理解する。 2.その考え方を実践的に活かすためのアプローチを考えられる。 具体的には、基礎理論としての都市環境工学を学び、先進事例学習、それに関する議論に参加し、政策立案技術を体得する。 ②都市環境工学分野の特に環境・防災に配慮した都市デザイン・マネジメントにかかわるエネルギー面の取り組み理解、都市と生態系とのかわりの理解、防災にかかわるハード対策の概要とソフト対策の体系的な理解、および、それらを実践するための多分野、多主体協働による議論、およびエリアマネジメントにおける実践例に基づく実践に向けたアプローチを知識として身につける。 ③大学院講義(「地域・都市環境管理論」への参加)、ゼミ(建築都市文化特別演習)への参加；研究会への参加；地球環境未来都市研究会の各研究会(佐土原研究室が主催、エネルギーデザイン、ICTプラットフォーム、生物圏研究会、エコロジーデザイン研究会、横浜地域部会、都留地域部会が活動中) フィールドワークへの参加；期間中、7回の現地視察を行う(首都圏先進事例+地方都市先進事例) ①横浜中心地区(みなとみらい2050プロジェクト対象地区) ②日本民家園(日本の伝統的な環境と調和した家屋) ③柏の葉スマートシティ(エネルギー、環境、健康が融合した地域づくり) ④藤沢スマートシティ(情報・エネルギーを活かした地域づくり) ⑤豊洲スマートエネルギーネットワーク(エネルギー面からの環境・防災地域づくり) ⑥田町駅東口北地区(2地域が連携したスマートエネルギーネットワーク) ⑦北海道 下川町スマートコミュニティ(森林バイオマス等再生可能エネルギー利用)	現職・資格・知識： 学歴：大卒 経験年数： 都市計画、環境施策、建築実務のいずれかの分野での業務経験3年以上 年齢：21歳~50歳 日本語能力：可能であれば専門的議論ができる日本語能力(英語もできると望ましい)	国立大学法人 横浜国立大学	山本 容子 (YAMAMOTO Yoko (Ms)) Mail: kokusai.kikaku@ynu.ac.jp Site: http://www.ynu.ac.jp/english/index.html	JICA横浜
S5	短期	日系医学	4	上下	相談可能 (3か月以内)		①医学における各専門分野の最先端技術に関する知識および技術を習得する ②1.各専門分野における最先端医療の知識向上 2.各種医療器具の操作技術 3.診断技術 4.手術技法 5.術後ケア 6.研究ネットワーク構築 ③1.臨床例による座学 2.OJTによる診断技術 3.医療機器の操作技術 4.手術見学 5.現地の臨床例の研究・評価 6.学会参加・発表	学歴：大学医学部卒 経験年数：1年 年齢：21歳~50歳 日本語能力初級前半 ※原則、日本語で実施。ただし研修実施場所において英語での研修が可能であり、かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談。 ※本コースに参加希望の方は、事前に本リスト担当者(海外日系人協会 水上)に連絡を入れること。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
S6	短期	日系歯学	4	上下	相談可能 (3か月以内)		①歯学における各専門分野の最先端技術に関する知識および技術を習得する ②1.各専門分野における最先端医療の知識向上 2.各種医療器具の操作技術 3.診断技術 4.手術技法 5.術後ケア 6.研究ネットワーク構築 ③1.各専門分野における最先端医療の知識向上 2.各種医療器具の操作技術 3.診断技術 4.手術技法 5.術後ケア 6.研究ネットワーク構築	学歴：大学歯学部卒 経験年数：1年 年齢：21歳~50歳 日本語能力初級前半 ※原則、日本語で実施。ただし研修実施場所において英語での研修が可能であり、かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談。 ※本コースに参加希望の方は、事前に本リスト担当者(海外日系人協会 水上)に連絡を入れること。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
S7	短期	日系保健福祉	4	上下	相談可能 (3か月以内)		①保健福祉における各専門分野の最先端技術に関する知識、および技術を習得する ②1.各専門分野における最先端医療福祉の知識向上 2.各種医療器具等の操作技術 3.診断技術 4.指導技術 5.マネジメント 6.研究ネットワーク構築 ③1.各専門分野における最先端医療福祉の知識向上 2.各種医療器具等の操作技術 3.診断技術 4.指導技術 5.マネジメント 6.研究ネットワーク構築	学歴：医療福祉分野の専門教育を受けている者 経験年数：1年 年齢：21歳~50歳 日本語能力初級前半 ※原則、日本語で実施。ただし研修実施場所において英語での研修が可能であり、かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談。 ※本コースに参加希望の方は、事前に本リスト担当者(海外日系人協会 水上)に連絡を入れること。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜

案件No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体(研修実施機関等)	連絡先	所管センター
S8	短期	中小企業連携促進のための日系技術者	4	上下			①中小企業等が持つ先端技術の習得及び日本の企業文化や慣習について理解する ②1. 各専門分野における最先端技術を習得する 2. 日本企業が持つ企業文化を理解する 3. 企業人としての人的ネットワークを構築する ③ 1. 各専門分野技術習得のための基礎講座 2. OJT研修による技術の習得 3. 企業経営の基礎講座 4. 企業視察	経験年数: 1年 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級前半 ※原則、日本語で実施。ただし研修実施場所において英語での研修が可能であり、かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談。 ※本コースに参加希望の方は、事前に本リスト担当者(海外日系人協会 水上)に連絡を入れること。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
S9	短期	中小企業連携促進のための企業法務	1	下	2018/1/8	2018/3月	①我が国の経済活動及び中小企業の海外進出に関する法的な知識が習得され、中南米地域で実践普及される ②1. 日本経済に関する知識の習得 2. 商法、会社法などの中小企業にまつわる法的知識の習得 3. 中小企業の海外進出に関する知識の習得 ③1. 経済、法律に関する講座、セミナーへの参加 2. 経済団体等関係団体へのインタビュー調査 3. 海外進出を希望する中小企業訪問	現職・資格・知識: 弁護士または 行政書士資格要 経験年数: 1年 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級後半~中級 ※原則、日本語で実施。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
S11	短期	移住資料保存・整理技術	1	下	2017/11/5	2017/12月	①1. 日系資料館・博物館またはそれらを運営する団体等で保管している資料の整理、保存のための知識および技術の習得 2. 上記資料のデジタルデータ化するための知識および技術の習得 ②1. 日本人の海外移住に関連した資料の整理、保存方法を習得する 2. 写真、文書資料のデジタル化及び画像加工・修正技術の習得により、インターネット等通信技術を介した資料の閲覧・提供が可能となる 3. 資料参照の簡易化手法(目録作成)の習得により、情報提供のためのデータベース構築が可能となる 4. OEMに関する知識を習得し、デジタルミュージアムの構築が可能となる ③【講習】 (1) 海外移住資料館の概要、情報表示システムの概要 (2) 資料のデジタル化と公開の意義、その運用方法 (3) OEMの概要と活用の意義 (4) 資料のデジタル化に関する基礎知識 (5) 目録、データベース作成方法 (6) 展示構成と解説文 【実習】 (1) 資料の整理・保存・デジタル化 (2) 画像処理ソフト活用法 (Adobe Photoshop) 基礎・応用 (3) WEB制作ソフト活用法 (Adobe Dreamweaver) 基礎・応用 (4) OEMを使ったデジタルミュージアムの構築 【視察】 (1) 資料保存・整理・デジタル化作業現場視察(神奈川県立歴史博物館、慶應義塾大学古文書室) (2) 移住資料所蔵機関視察(神戸市立海外移住と文化の交流センター、和歌山市民図書館、広島県公文書館、日本ハワイ移民資料館、日本力行会資料室等)	現職・資格・知識: 日系資料館・博物館またはそれらの館を運営する団体等において、常勤職として勤務している者 経験年数: 1年 年齢: 21歳~50歳 日本語能力中級 ※原則、日本語で実施。	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 (MIZUKAMI Takao (Mr)) Mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/	JICA横浜
S12	短期	食品衛生学(公衆衛生学)	1	上	2017/5/14	2017/8月	①試料からのバクテリオシン生産性乳酸菌を分離し、その抗菌スペクトルを確認し、保存料としてのバクテリオシンの利用を学ぶ ②1. 基本的な微生物操作技術を修得 2. バクテリオシン生産菌株の簡易検出法を修得 3. バクテリオシンの利用法を修得 ③1. 講義: ①食品衛生と微生物 ②日本の発酵食品 ③バクテリオシン ④微生物操作法 2. 実習: 花などの試料からの乳酸菌の分離とバクテリオシン生産菌の取得、利用 3. 見学: 発酵食品製造メーカー(民間)	現職・資格・知識: 食品や微生物に興味があり、科学実験をしたことがある方 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級後半	学校法人 東京農業大学	国際協力センター Mail: ki205036@nodai.ac.jp Site: http://www.nodai.ac.jp/	JICA横浜
S13	短期	拮抗性Bacillus属細菌の検出・分離	1	下	2017/11/5	2018/1月	①試料からの拮抗性Bacillus属細菌の分離・検出法を習得、自国での本菌を分離して、それを利用した生物農薬の開発の礎とする。 ②1. 基本的な微生物操作技術を習得する。 2. 環状リボペプチド生産菌株の簡易検出法を修得する。 3. 機器分析(HPLC)による環状リボペプチドの定性定量分析法を修得する。 ③ 講義: 1. 生物農薬全般 2. 拮抗性Bacillus属 3. 微生物操作 4. 機器分析法(HPLC) 実習: 土壌などの試料からの拮抗性Bacillus属細菌の分離 見学: 農業用微生物資材の製造メーカー	現職・資格・知識: 農業生産分野の研究に携わっている方 年齢: 21歳~50歳 日本語能力初級後半	学校法人 東京農業大学	国際協力センター Mail: ki205036@nodai.ac.jp Site: http://www.nodai.ac.jp/	JICA横浜
S14	短期	農産物加工とマーケティング	3	下	2017/11/5	2017/12月	①研修員が農林水産物の加工、高付加価値化、6次産業化についての知見を習得する。 ②1. 農産物の加工、高付加価値化、マーケティングについての基礎的な知識を得る。 2. 農産物の加工、高付加価値化、マーケティングに関する具体的な事例について理解する。 3. 日本における農産物の加工、6次産業化の事例を参考にして研修員が自国で実施可能なアイデアを得る。 ③1. 講義: 農産物の加工と6次産業化、高付加価値化、マーケティング戦略、ブランド化、パッケージとデザイン 2. 実習: 農産物加工 3. 視察: 大隅農産物加工研究センター、民間企業(農産物加工、畜産加工、水産加工) 4. 意見交換: 関係者との意見交換 5. 発表: 研修成果発表	現職・資格・知識: 農業生産者または農業関連(加工、流通など)の仕事に従事している人 年齢: 21歳~50歳 学歴: 不問 経験: 不問 日本語能力中級以上 ※研修は日本語で実施	鹿児島国際交流協会のセンター	酒井 マリ (SAKAI Mari (Ms)) Mail: kagic117@po3.synapse.ne.jp Site: http://kagic.jp/kagic/	JICA九州
S15	短期	グリーンツーリズム	3	下	2017/10/1	2017/11月	①研修員がグリーンツーリズムについての知見を習得する。 ②1. グリーンツーリズムの意義について理解する。 2. グリーンツーリズムの具体的な事例、経営ノウハウについての知見を得る。 3. 日本におけるグリーンツーリズムの事例を参考にして研修員が自国で実施可能なアイデアを得る。 4. 研修員が帰国後の具体的な実践計画を作成する。 ③1. 講義: グリーンツーリズムの意義、日本(鹿児島)におけるグリーンツーリズムの現状と課題、農村女性の活用、グリーンツーリズム経営とリスクマネジメント、環境保全 2. 実習: グリーンツーリズムの事例(農業体験、農産物加工体験、自然体験、農家民泊) 3. 視察: グリーンツーリズム関連施設、観光施設 4. 意見交換: グリーンツーリズム実践者、関係者との意見交換 5. 発表: 研修成果発表	現職・資格・知識: 農業生産者または農業関連(加工、流通など)の仕事に従事している人 年齢: 21歳~50歳 学歴: 不問 経験: 不問 日本語能力中級以上 ※研修は日本語で実施	鹿児島国際交流協会のセンター	酒井 マリ (SAKAI Mari (Ms)) Mail: kagic117@po3.synapse.ne.jp Site: http://kagic.jp/kagic/	JICA九州

案件No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体(研修実施機関等)	連絡先	所管センター
S16	短期	日本の防災対策	2	下	2017/10/1	2017/11月	①ソフトの防災対策であるハザードマップや防災訓練、日本の防災行政や地域の自主防災組織が理解される。またハザードマップの作製技術が習得される。 ②日本のソフトの防災について理解が深まる。 2. 日本の防災行政の全体像が理解される。 3. 自国で応用可能なハザードマップ作成手法が身につく。 ③1. 講義：日本の自然災害事情、防災法整備、ソフト防災について 2. 見学：山口県防災危機管理課、宇部市総務課、山口県内被災現場、他県被災現場、アジア防災センター等 3. 実習：山口県内を対象にハザードマップを作成する。	現職・資格・知識： 防災に強い関心のある人。防災分野に従事していることが望ましい。 年齢：21歳～50歳 学歴：大卒（相当） 経験：不問 日本語能力初級後半、日本語能力試験N4以上。 他言語： 英語対応可能、英語でコミュニケーションが出来る問題ない。	国立大学法人山口大学	服部 直樹 (HATTORI Naoki (Mr)) Mail: sh031@yamaguchi-u.ac.jp Site: http://www.yamaguchi-u.ac.jp/	JICA中国
S17	短期	理学療法(作業療法)による機能回復訓練	1	下	2017/10/1	2017/11月	①障害者を対象として、小児から成人まで、様々なアプローチからのリハビリ訓練の手法を習得する。 ②小児から成人まで、いろいろなアプローチからのリハビリ訓練の手法 ③障害者を対象として、成人(または小児)に対する理学療法(作業療法)による機能回復訓練の現場での実習を通じて、訓練の流れやシステム、疾患別アプローチを学ぶ。	現職・資格・知識：理学療法士または作業療法士 年齢：21歳～50歳 学歴：大卒（相当） 日本語能力中級、日本語能力試験N2以上	公益財団法人ひろしま国際センター/ 広島県立障害者リハビリテーションセンター	永島 実緒子NAGASHIMA Mioko(Ms) hic12@hiroshima-ic.or.jp http://hiroshima-ic.or.jp/	JICA中国
S18	短期	日系コミュニティ保持および日本文化継承者育成支援	4	上	2017/5/14	2017/7月	①1.現在の日本を知り、帰国後、自らのルーツとしての日本を伝達できる素材を得る 2.現在の日本と、日本の伝統文化及び継承されている日本文化等の比較により、現地での日本文化継承に役立てる 3.日本における日系人のアイデンティティの問題を知り、帰国後の継承教育に役立てる ②1.現在の日本を知り、現地で誤解を生じている、もしくは時代にそぐわない日本観の更新 2.継承教育に必要な教材及び教材化のための素材の取得 3.上記に基づく、日系人としてのアイデンティティ確立上の諸問題の考察及び解決策の検討 4.日本における日系人指導者とのネットワーク構築 ③様々な角度からの日本文化体験等を通じ、自らのルーツとしての認識を深めるとともに、現在継承されている日本との差異を検討し、継承教育に必要な要素を考察する 講義： ①日系社会における歴史の変遷等 ②異文化環境における文化変容 ③現在の日本における日系人の現状と教育に関わる問題 ④特に年少者を対象にした日本における継承教育 ⑤視察・見学・体験	現職・資格・知識： 現地で教員資格を有する者で、日系人指定の指導に当たっている者。 年齢：21歳～50歳 経験年数：5年 学歴：大卒（相当） 日本語能力中級以上、日本語能力試験N2以上（N1取得者が望ましい）	公益財団法人ひろしま国際センター/ 広島県立障害者リハビリテーションセンター	永島 実緒子NAGASHIMA Mioko(Ms) hic12@hiroshima-ic.or.jp http://hiroshima-ic.or.jp/	JICA中国
S19	短期	伝統文化(神楽)の継承による日系社会の活性化	3	下	2017/10/1	2017/11月	①演舞や道具類などの神楽技術の個別指導、効率的な神楽イベントの企画管理運営技術、後継者を指導・育成する技術を習得する。また、現地での神楽イベントを通じ、日系社会全体の連携と共同意識を高め、日系社会を支えていく担い手としての活躍を目指す。 ②1.広島神楽(新舞)の演舞の技術の習得 2.口上(セリフ)、音曲の技術の習得 3.大道具、小道具の作成・修理技術の習得 4.神楽イベントの企画・管理・運営技術の習得 ③1.神楽の基礎、歴史についての講義 2.広島神楽の代表演目「紅葉狩」の実技指導3.神楽定期公演、神楽イベントの作業補助実習(管理運営ノウハウの習得)	現職・資格・知識： 神楽等の伝統芸能活動経験1年以上 年齢：21歳～50歳 経験年数：1年 学歴：大卒（相当） 日本語能力初級後半、日本語能力試験N3以上（日常生活程度以上）	公益財団法人ひろしま国際センター	永島 実緒子NAGASHIMA Mioko(Ms) hic12@hiroshima-ic.or.jp http://hiroshima-ic.or.jp/	JICA中国
S20	短期	地域流行型人獣共通真菌症の疫学と診断法の開発	1	下	2018/1/8	2018/2月	①ロボミコースの疫学調査と診断法の開発のための手法として、免疫組織化学法による抗体検査方法を取得する。 ②免疫組織化学法、疫学解析手法の技術の習得 ③1 講義・実習：ロボミコース概論、免疫組織化学法、光学顕微鏡による観察、他 2 視察：琉球大学医学部、美ら海水族館 3 演習：国際誌投稿に向けた準備、他	現職・資格・知識： 生物学系の研究者もしくは研究者をめざす学生 年齢：45歳以下 経験年数：3年 学歴：大卒 日本語能力初級前半、日本語能力試験N5以上 他言語：英語・ポルトガル語対応可	琉球大学	佐野 文字SANO Ayako(Ms) ayasano@agr-uryukyu.ac.jp http://www.uryukyu.ac.jp	JICA沖縄
S21	短期	建築研修	2	上	2017/6/25	2017/7月	①建築の設計に関して、建物の機能性、安全性、適切な避難、耐震、環境及び設備等、そして施工監理において基本的なことを習得する。 ②1 日本での建築設計内容の全般を把握する。 2 安全に関する日本や米国の基準などを習得する。 3 環境設計に関する日本のCASBEEや米国のLEEDについて学習する。 4 研修員の希望する建築設計意匠、構造及び設備分野(耐震含む)の知識・技術を習得する。 ③1.講義・実習・視察：建築設計内容の全般、建物の安全と機能及び避難、日本のCASBEEや米国のLEEDの環境設計、建築設計意匠、構造、設備分野	現職・資格・知識： 建築専攻卒 年齢：35歳以下 経験年数：2年 学歴：大卒 日本語能力：日常生活程度 他言語：英語対応可	具志堅建築設計事務所 宜野湾支所	金城 孝雄KINJO Takao(Mr.) taka.kinjo@gushikena-e.net http://www.gushikena-e.net	JICA沖縄
S22	短期	地域を基盤とした高齢者支援システム	2	上	2017/5/14	2017/8月	①日系研修員は、地域で提供されるフォーマル・インフォーマルな社会資源などを理解し、高齢者とその家族を支える介護システム構築の知見を習得する。 ②1. 日本の高齢者福祉制度の概要について理解する。 2. 要介護高齢者の日常生活を支える地域を基盤とした高齢者支援システムについて理解する。 3. 認知症高齢者とその家族の地域支援の取り組みについて理解する。 4. 帰国後、地域を基盤とした高齢者支援システムの一部を地域で提供するためのスキルを修得する。 ③1. 講義： ①日本の高齢者福祉制度の概要 ②地域を基盤としたソーシャルワーク ③要介護高齢者の日常生活を支える支援の在り方 ④認知症高齢者とその家族の地域支援の取り組みへの理解 2. 演習：面接技法、高齢者福祉分野における相談援助事例研究、日系社会と日本の比較研究 3. 実習：地域包括支援センターや認知症カフェ等でのソーシャルワーク実習 4. 実習の振り返り：現地課題への応用を検討 5. 学内セミナー：研修成果を発表(学生、福祉施設職員、市民参加予定)	現職・資格・知識： 日系社会で医療・保健・福祉分野に携わっている 年齢：21歳～50歳 経験年数：1年 日本語能力：日常生活程度	道都大学	社会福祉学部長 飯濱 浩幸 IIHAMA Hiroyuki (Mr) hiihama@dohto.ac.jp http://www.dohto.ac.jp	JICA札幌

案件No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体(研修実施機関等)	連絡先	所管センター
S23	短期	柔道及び日本事情	2	下	2017/11/5	2017/12月	①研修員が、大学での柔道部稽古、大学近隣の警察、刑務所、高等学校における柔道稽古への参加を通じて、様々なレベルにおける柔道指導法を習得する。また、香川大学で留学生に提供している「さぬきプログラム」という日本事情の講義に特別聴講生として参加可能であり、柔道のみではなく、日本の現在の様々な状況について理解する。 ②1 研修員が大学柔道部、高等学校柔道部及び公的機関(警察・刑務所等)における稽古手法・指導法の全体像を理解する。 2 研修員が柔道の稽古手法・指導法の技術・知見を習得する。 3 上記を基に、研修員により、自国で応用可能な技術・手法等が整理される。 4 研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。 5 大学で英語による日本事情を聴講することで、日本文化を深く理解する。 ③1. 講義: 大学留学生講座「さぬきプログラム」の受講で、基本的な日本事情の把握 2. 実習・OJT: 大学柔道部の練習に参加。大学柔道部及びJICAシニア海外ボランティア(柔道)、国際柔道自治会会長(高松商業高校柔道部)のネットワークを活用し、出稽古を実施 3. 見学: 他団体の施設、活動(公的機関、学校) 4. 発表: さぬきプログラム参加学生の発表会にて、帰国後の活動計画の発表	現職・資格・知識: 日系社会で柔道の稽古に参加している。指導経験があることが望ましい。英語による講義に参加できる英語力を有していること。 3年以上の指導経験があることが望ましい 年齢: 21歳~50歳 経験年数: 3年 日本語能力: 不問 他言語: 英語で実施	国立大学法人 香川大学	熊谷 信広 KUMAGAI Nobuhiro(Mr.) kumagai@cc.kagawa-u.ac.jp http://www.kagawa-u.ac.jp/	JICA四国
S24	短期	PISA/TIMSSで問われる理数科学力を育成する日本型アプローチ	3	下	2017/12/4	2017/12月	①大学で実施している教育現場での実践力育成を重視した大学院教育(理数科教育)、小中学校で実施されているPISA/TIMSS的な学力向上につながる理数科教育の現状を、中南米地域の日系人教育関係者・学生に紹介するとともに、これらに関連する研究・教育実践力の育成を図る。 ②小中学校の理数科教育で活躍する人材(現職教員・教育学部学生)のPISA/TIMSS的な学力向上に結び資するような授業実践能力・教材開発能力の向上。最終的には、日系社会の産業・進学・就労条件の改善に資するような理数科教育が現地で実施されることを期待。 ③第一週目: 日本の教育制度・事情、PISA/TIMSS概論、理数科授業観察 第二週目: 教育研究調査方法、理数科授業観察、模擬授業・教材準備 第三週目: 模擬授業の実施、授業検討会の実施、教材集・報告書作成	現職・資格・知識: 教育関連学部卒ないし在学中年齢: 21歳~50歳 経験年数: 小学校ないし中学校での教員経験が2年以上 他言語: 英語またはスペイン語での対応可能 教材: 日本語および英語 英語ないしスペイン語ができれば、日常会話程度の日本語能力で可	国立大学法人 鳴門教育大学	石坂 広樹 SHIZAKA Hiroki(Mr.) hishizaka@naruto-u.ac.jp http://www.naruto-u.ac.jp/	JICA四国
S25	短期	環境教育リーダー養成研修(都市型環境教育)	3	下	2018/1/8	2018/2月	①研修員が、当該地域で適応可能な、市民等の環境意識を啓発する環境教育実践の知識及び技術を習得すること。また、当該地域の多様な資源を活かしながら、様々な市民・組織との協働による環境教育推進の視点を獲得すること。 ②1 環境教育実践の基本的な知識(歴史や手法、考え方等)が理解される。 2 環境教育実践のための知識と技術が習得される。 3 多様な資源(人的・社会的)を活用、または協力し、社会として環境教育を推進する視点を獲得。 4 上記3項を基に、研修員が自国で応用できる知識と技術が整理される。 ③1. 講義: 環境教育の歴史・考え方、体験学習法、環境教育における市民参画、ワークショップの理論と技法、プログラムデザイン/企画/評価 2. 実習・OJT: 京エコロジーセンターに來館したお客様への環境教育プログラムの実施や展示解説(インタープリテーション)の実施(來館者対応あり) 子どもから大人を対象とした環境教育プログラムの企画・実施・評価 地域コミュニティ等での市民参画による環境保全活動・環境教育コーディネート 3. 見学: 他の環境教育施設または環境NPO等の環境教育の取り組み、市民参画で環境教育を推進している取り組みや仕組みについて視察 4. 演習: 当該地域の抱える環境問題及び環境教育の課題を分析した上で、様々なリソース(人的資源、社会的資源)を巻き込み環境教育を推進していくためのアクションプラン作成 5. 発表: 「4. 演習」で作成したアクションプランについて発表をする。それに対し関係者・学識者よりフィードバックを行い、より実現可能なものに高める。	現職・資格・知識: 環境教育に携わっている、または携わる意思があること。 教育分野に携わった経験があることが望ましい 年齢: 21歳~50歳 学歴: 大卒(相当) ※子どもをはじめとした来館者等とのコミュニケーションが必要のため、相応のコミュニケーション力が要件になる。 教材: 日本語or英語 日本語能力試験N3程度	公益財団法人 京都市 環境保全活動推進協会	新堀 春輔 SHIMBORI Shunsuke(Mr.) shinbri@miyako-eco.jp https://keea.or.jp/	JICA関西
S26	短期	鍼灸学	2	上	2017/6/25	2017/9月	①鍼灸学についての基本的な知識の再確認を行い、次に高度な知識及び技術を習得し、更に最新の知識・技術の習得を通じて、鍼灸学に携わる考え方、学ぶ力を身につけ、帰国後の中南米社会で研修成果を社会還元する ②鍼灸学全般に係わる基礎的な知識の確立。日本で行われている伝統的な鍼灸治療についての概要を理解できる。 ③高度な知識の習得及び鍼灸臨床技術について現場の現地見学などの機会を通じて、知識及び技術力の向上を行ない、帰国後は自国での治療に活用する。 ④関西医療大学附属鍼灸治療所において、トリガーポイント療法、皮内鍼法、良導絡自律神経調整療法、特殊鍼法(耳鍼、頭皮鍼、髪際鍼、手背鍼など)を専任教員の指導下で学習する。(但し、患者さんへの治療は行わない実習である)	現職・資格・知識: 医療系(鍼灸を含む)の資格を有していることが望ましい。 鍼灸学を既にある程度習得していることが望ましい 年齢: 21歳~50歳 学歴: 大卒(相当) 日本語能力: 日常会話程度 教材: 日本語or英語	学校法人関西医療学園 関西医療大学	吉岡 正樹 YOSHIOKA Masaki(Mr.) yoshioka@kansai.ac.jp https://www.kansai.ac.jp	JICA関西
S27	短期	日本の経営と財務分析	1	下	2017/10/1	2017/10月	①基本的な講義と「日本の経営」を実践している中小企業でのインターンをとし、日本企業に特徴的な経営手法・財務管理の概要を学ぶ。 ②短期的な利益を重視する欧米的な経営とは異なり、長期的な視点で経営に取り組む日本企業の経営手法に触れることで、自社の経営承継後のみならず、日系社会の将来を展望する機会を提供できる。 ③兵庫県内に事業所を有する中小企業において、前半は財務管理・経理実務の実際を財務部門で、後半は経営管理・営業部門で経営計画や営業戦略の立案方法などを学ぶ。読み書きの能力が高い場合はOJTによる研修を行うなど、研修員の日本語能力に応じて適切な研修方法により実施する。	現職・資格・知識: ビジネス(経営マネジメント)分野の基礎知識 年齢: 21歳~50歳 学歴: 大卒(相当) 経験年数: 2年 日本語能力: 日常会話程度 教材: 日本語or英語	公益財団法人 国際交流協会	三木 宏夫 MIKI Hiroo(Mr.) miki.h@net.hyogo-ip.or.jp http://www.hyogo-ip.or.jp	JICA関西
S28	短期	「日系アイデンティティ涵養・日史教育教材作成」演習(その1)	2	上	2017/5/14	2017/7月	①「現地の中核となる日系継承教育者又は教師指導者」を対象に、研修員自らが日頃から抱える日系継承教育のための教材制作テーマに関する研修を行うとともに、日本の歴史や文化、社会的背景、現代日本の実情などについて体験を交えて深く理解する。また、研修により得られた成果を発表・公表し、当該国の日系継承教育のために活用することを旨とする。 ②絵・漫画・動画など、日本(特に金沢を含む北陸地方)だからこそ入手可能な視覚教材資料の探索と収集・教材制作に関わる各種スキル(作成、編集、管理・更新方法など)の修得 研修員の指導対象となる日系子弟を想定し、学齢児童教育や語学教育現場視察を通じた教育技能のスキルアップ・日本文化や日本史、現代日本の社会実情などについて、体験学習を交えた深い理解・研究成果のプレゼンテーション。あるいは研究レポートの日・西又は葡語での記述・修得した技術や成果のインターネット活用による、研修員の母国の日系社会での広く効果的な還元 ③研修員候補者に対しては、受入れ申請が行われた段階から電子メール等を通じて希望研修計画の概要を聞き、その実現可能性に関する試問を行う。受入れが可能と判断された候補者とは、研究の具体的な目標と方法を詰めていき、本学到着後に最終的な研究計画を決定させる。研修は、以下の内容のものを想定する。1. 講義: 日本文化概論、日本史、日本文化史、日本武道概論、日本伝統芸能概論2. 実習: 文化・社会体験プログラム、日本武道演習、日本伝統芸能演習3. 見学: 人間社会学域学校教育学類附属学校、放送大学、石川県を始めた北陸各地の文化施設(美術館、博物館、等)、(必要に応じて)研修員の研修内容に関わる地域への研修旅行4. 学会・セミナー: (必要に応じて)研修員の研修内容に関わるものへの参加を検討5. 発表: 学内またはJICA支部、研修最終日に実施(閉講式も兼ねる予定)	現職・資格・知識: 1. 現地日系協会や日本人会組織が運営する機関において日系子弟を対象とした日系継承教育またはその教材制作に携わる者(今後携わる予定がある者を含む)2. 所属機関や当該専門分野における中堅的人物であること(公的な第三者による推薦があれば一層望ましい)3. 具体的な希望教材制作テーマに関するアイデアを有していること4. パソコン(OS不問)及び電子メール送受信の基本操作が支障なくできること 年齢: 21歳~50歳 経験年数: 3年 日本語能力初級後半以上 指導コーディネーターとして、国際機構留学生センターの太田亨教授(専門は日本語・スペイン語・ポルトガル語間の対照言語学、および日本語教育)が中心となって当たる。	国立大学法人 金沢大学	太田 亨 Ota Akira(Mr.) akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp	JICA北陸

案件No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	資格要件	提案団体 (研修実施機関等)	連絡先	所管センター
S29	短期	「日系アイデンティティ涵養・日系史教育教材作成」演習(その2) ※(その1)が実施された場合は(その2)は実施しない	2	下	2017/10/1	2017/12月	①「現地の中核となる日系継承教育者又は教師指導者」を対象に、研修員自らが日頃から抱える日系継承教育のための教材制作テーマに関する研修を行うとともに、日本の歴史や文化、社会的背景、現代日本の日系継承教育のために活用することを旨とする。 ②1. 絵、漫画、動画など、日本(特に金沢を含む北陸地方)だからこそ入手可能な視覚教材資料の探索と収集・教材制作に関わる各種スキル(作成、編集、管理・更新方法など)の修得 2. 研修員の指導対象となる日系子弟を想定し、学齢児童教育や語学教育現場視察を通じた教育技能のスキルアップ 3. 日本文化や日本史、現代日本の社会実情などについて、体験学習を交えた深い理解・研究成果のプレゼンテーション、あるいは研究レポートの日・西又は葡語での記述 4. 修得した技術や成果のインターネット活用による、研修員の母国の日系社会での広く効果的な還元 ③指導コーディネーターとして、国際機構留学生センターの太田亨教授(専門は日本語・スペイン語・ポルトガル語間の対照言語学、および日本語教育)が中心となって当たる。研修員候補者に対しては、受入れ申請が行われた段階から電子メール等を通じて希望研修計画の概要を問い、その実現可能性に関する試問を行う。受入れが可能と判断された候補者とは、研究の具体的な目標と方法を詰めていき、本学到着後に最終的な研究計画を決定させる。研修は、以下の内容のものを想定する。 1. 講義：日本文化概論、日本史、日本文化史、日本武道概論、日本伝統芸能概論 2. 実習：文化・社会体験プログラム、日本武道演習、日本伝統芸能演習 3. 見学：人間社会学域学校教育学類附属学校、放送大学、石川県を始めとした北陸各地の文化施設(美術館、博物館、等)、(必要に応じて)研修員の研修内容に関わる地域への研修旅行 4. 学会・セミナー：(必要に応じて)研修員の研修内容に関わるものへの参加を検討 5. 発表：学内またはJICA支部、研修最終日に実施(閉講式も兼ねる予定)	現職・資格・知識：1. 現地日系協会や日本人組織が運営する機関において日系子弟を対象とした日系継承教育またはその教材制作に携わる者(今後携わる予定がある者も含む)2. 所属機関や当該専門分野における中堅の人物であること(公的な第三者による推薦があれば一層望ましい)3. 具体的な希望教材制作テーマに関するアイデアを持っていること4. パソコン(OS不問)及び電子メール送受信の基本操作が支障なくできること 年齢：21歳～50歳 経験年数：3年 日本語能力初級後半以上	国立大学法人 金沢大学	太田 亨 Ota Akira(Mr.) akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp	JICA北陸
S30	短期	高齢者福祉におけるケアシステムと人材育成	4	上	2017/6/25	2017/7月	①高齢者福祉制度や日本の伝統的な文化、ケアシステム、介護について講義で学びつつ、地域の病院や施設、デイサービスなど多様な機関を視察し、高齢者福祉対策の組織的な対応を行うための仕組みや機能の重要性について幹部層の(知識と)意識の向上を促進する。 ②1. 日本における高齢者対策について知識を深める 2. 高齢者福祉制度について理解する 3. 要支援、要介護者へのケアシステムについて知識を深める 4. 認知症高齢者への支援について知識を深める ③短期間の研修であることから、高齢化社会、高齢者福祉、ケアシステムをキーワードとした関連施設の視察と講義を取り入れたプログラムとし、高齢者福祉制度や日本の文化、ケアシステムなどを講義で学びつつ、地域の病院や施設、デイサービスなど多様な機関を視察し、その実際について学ぶ。	現職・資格・知識：健康状態に課題がない日本人会幹部 年齢：21歳～50歳 日本語能力中級以上 日本語の講義が理解できる事	石川県公立大学法人石川県立看護大学	武山 雅志 TAKEYA Masashi(Mr.) sogocen@ishikawa-nu.ac.jp http://www.ishikawa-nu.ac.jp/en/	JICA北陸
S31	短期	医療(リウマチ・膠原病内科)	1	下	2017/10/1	2017/11月	①研修員は、日本のリウマチ診療における診断・治療技術を習得できる。特に、高齢者における腎機能に配慮した医療を習得できる。 ②研修員は、自国で応用可能なリウマチ診療における技術・手法等を整理して習得できる。 ③研修員は、治療におけるリスク管理の知識・技術が整理できる。 ④1. 見学：リウマチ・膠原病外来、病棟における診療の見学、知識の整理 ①高齢者を中心としたリウマチ患者の診療(腎機能低下、免疫力低下に配慮した医療) ②全身性エリテマトーデスや血管炎などの難治性病態への対応(入院・外来) ③口唇小唾液腺生検や腎生検などの手技の習得 ④治療におけるリスク管理の知識・技術の習得 2. 講義・臨床症例検討：個々の症例に対する診断と治療に関して検討する。 3. 討論会：自国と日本におけるリウマチ診療に関して比較検討し、討論し合うことにより、自国でのリウマチ診療技術向上への足がかりをつかむ。*研修において臨床実習は行わない	現職・資格・知識：リウマチ専門医であること。(医師免許CRM取得済みなること) 学歴：医学部卒 年齢：40歳以上 経験年数：20年以上 日本語能力中級以上 他言語：研修に耐えうる英語力要	金沢大学附属病院	中野 兼一 NAKANO Ken-ichi(Mr.) hpsomu@adm.kanazawa-u.ac.jp http://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/index.html	JICA北陸
S32	短期	医療(内分泌代謝内科)	1	下	2017/10/1	2017/11月	①生活習慣病や内分泌疾患、基礎実験に関し、最先端の日本の技術や方法を技術移転する。 ②1. 研修員は、糖尿病を始めとした生活習慣病治療を理解、取得する 2. 研修員は、希少な内分泌疾患を診断、治療できるようになる。 3. 研修員は、基礎医学実験の基礎を学ぶ。 ③1. 見学Ⅰ：① 外来実習② 入院患者③ グルコースクランプ④ 甲状腺エコー穿刺 2. 見学Ⅱ：Basic science research 3. 講義・臨床症例検討：個々の症例に関して検討する。 4. 討論会：自国と日本における糖尿病医療の知識・手技に関して比較検討し、討論し合い技術向上への足がかりをつかむ。*研修において臨床実習は行わない	現職・資格・知識：内分泌内科学専門医師であること。(医師免許CRM取得済みなること) 学歴：医学部卒 年齢：35歳以上 経験年数：15年以上 日常会話程度 他言語：英語力上級レベル研修に耐えうる英語力要	金沢大学附属病院	中野 兼一 NAKANO Ken-ichi(Mr.) hpsomu@adm.kanazawa-u.ac.jp http://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/index.html	JICA北陸
S33	短期	変形性膝関節症等用装具理解及び装着技術習得	2	下	2017/10/1	2017/11月	①変形性膝関節症等用装具の理解及び装着技術の習得 ②膝関節用装具装着には、一定の知識と技術が必要である。佐喜真義肢事業所に訪する様々な患者への対処法等について実践を経験しながら学び、研修員の出身国における正確な装着術につなげる。 ③1. 座学：理学的な観点から装具の優れた面等を学習する。(佐喜真義肢役員による実務的な内容及び金沢在の理学療法士等訓練学校における基礎的な人体生理学等) 2. 装着技術の習得：様々な症例への対処に接することにより、より正確な装着技術を学ぶ。(佐喜真義肢役員による実技研修等)	現職・資格・知識：高齢者介護関連職員等 日本語能力中級以上、日本語能力試験N2レベル	株式会社佐喜真義肢	佐喜真 保 SAKIKA Tamotsu sakima@cb-sakima.jp http://www.cb-sakima.jp/	JICA沖縄

※ 上半期 (ブラジルでの募集開始時期：2016年10月初旬～2016年11月18日)
上半期 (日本での研修期間：2017年4月～2017年9月)

※ 下半期 (ブラジルでの募集開始時期：2017年3月初旬～2017年4月19日)
下半期 (日本での研修期間：2017年10月～2018年3月)

